～久目地区～
市長のまちづくり
ふれあいトーク

ほんがわ　　ゆうじろう

氷見市長　本川　祐治郎

―ふれあいトーク―

副市長　棚瀬（たなせ）　佳明（よしあき）

ーふれあいトークー

教育長　前辻（まえつじ）　秋男（あきお）

―ふれあいトーク―

企画振興部長　高橋（たかはし）　正明（まさあき）

(1) 市の総合的企画、秘書、広報
(2) 地域協働、防災、交通･防犯
(3) 商工業、労働、観光
(4) 水産業
(5) 漁業交流館の整備

－ふれあいトーク－

防災･危機管理監　池田（いけだ）　士壽男（しずお）

･自然災害や原子力防災対策

―ふれあいトーク―

総務部長　濱井（はまい）　博文（ひろふみ）

(1)　行政一般
(2)　統計
(3)　職員の進退及び身分
(4)　財政、財産
(5)　税

－ふれあいトーク－

市民部長　宮本（みやもと）　秀夫（ひでお）

(1)　保育所運営、児童福祉、老人福祉
　　障害者福祉、生活保護
(2)　健康診査、予防接種、介護保険
(3)　戸籍届出、住所異動、印鑑登録
(4)　国民年金、国民健康保険、後期高齢者
　　医療制度
(5)　ごみ処理、斎場運営、リサイクル

ーふれあいトークー

建設農林部長 定塚（じょうづか）　信敏（のぶとし）

(1)　道路、河川
(2)　都市計画、住宅、建築
(3)　上水道、下水道
(4)　農業、林業、農地

ーふれあいトークー

能越自動車道対策室長（建設課長兼務）

ふくしま　　まさのり

福嶋　雅範

・能越自動車道の整備推進
・市管理の道路整備、管理

―ふれあいトーク―

消防長　堂尻（どうじり）　繁（しげる）

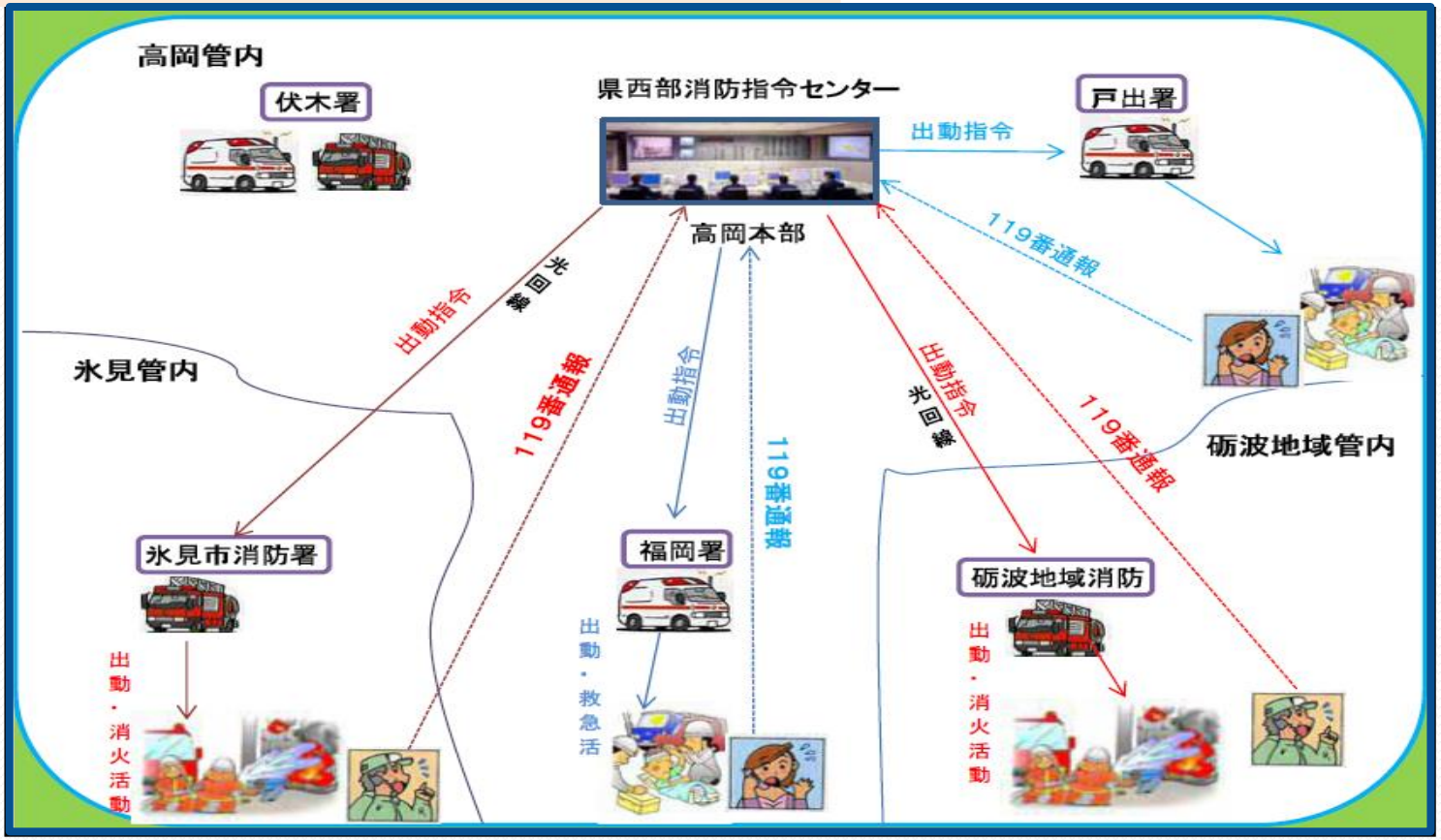
・消防、予防、救急

―ふれあいトーク―

消防指令事務共同運用

仮運用H25.12.2

本運用H26. 1. 1



火災情報の問合せ
12月2日～
22－9999

地域担当職員

商工観光戦略課　角井（かどい）　久則（ひさのり）

農林課　川崎（かわさき）　隆之（たかゆき）

―ふれあいトーク―

市政について

氷見市長　本川　祐治郎

―ふれあいトーク―

ハードからソフト、ソフトからハートへ

つぶやきを形に

市民はまちの使い手の専門家

子ども・妊産婦医療費助成事業

小学６年生まで対象

平成25年10月診療分からb

中学3年生までに拡大

―ふれあいトーク―

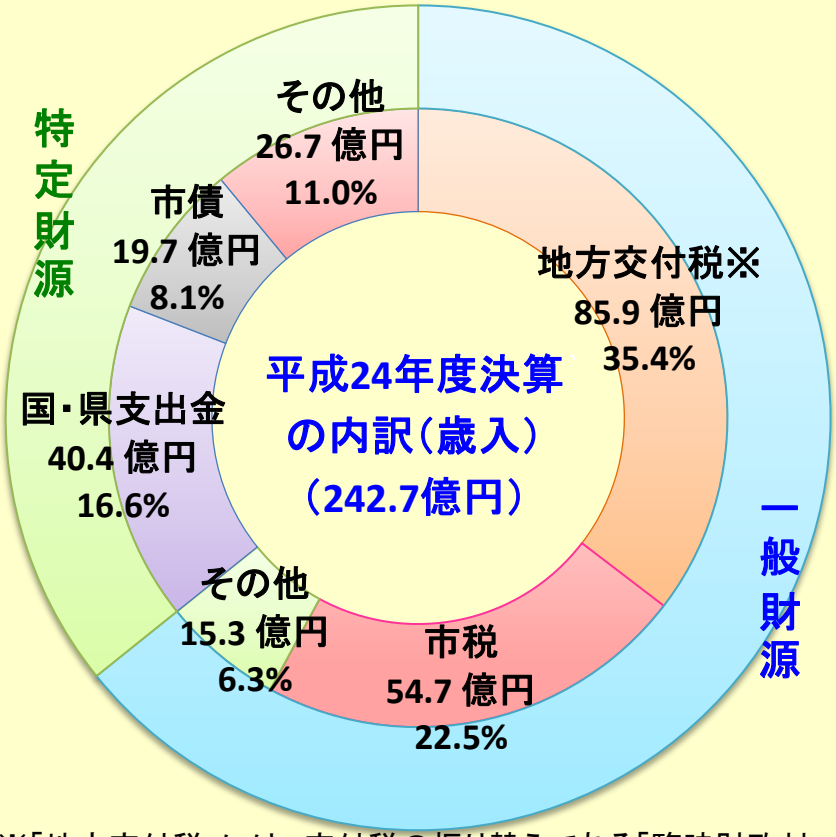
『氷見市の予算について』

～９月補正予算の概要及び市の財政状況～

―ふれあいトーク―

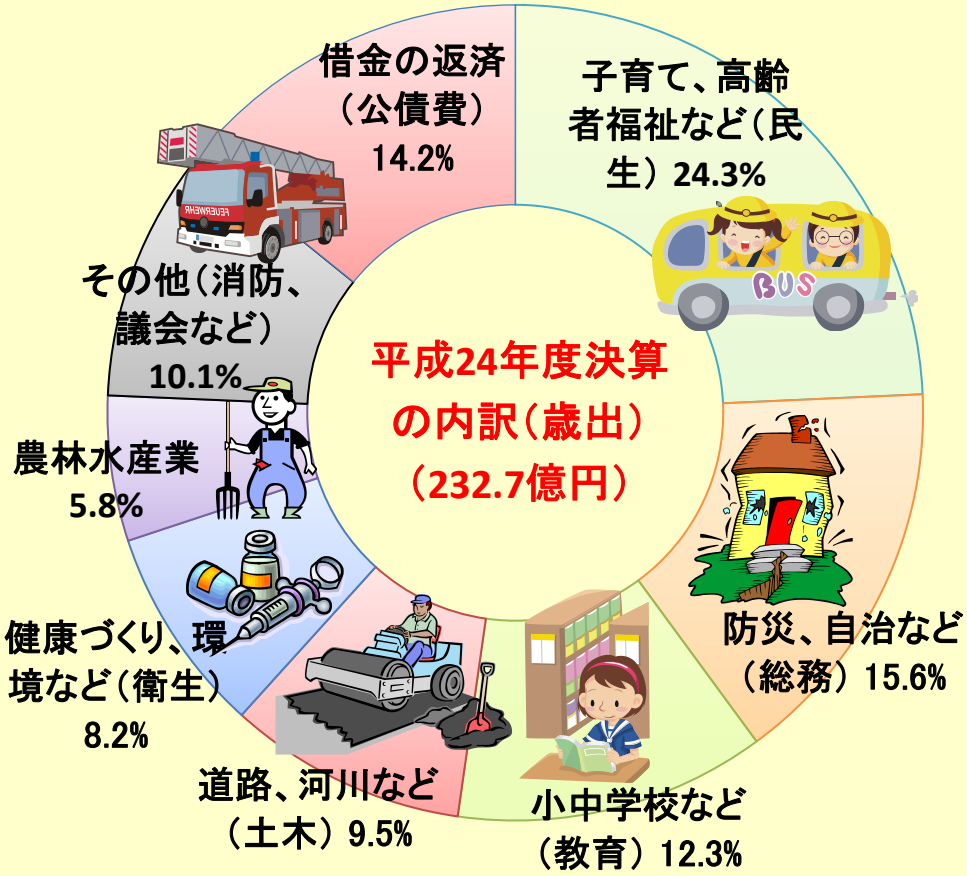
決算の内訳（平成24年度）

【歳　入】



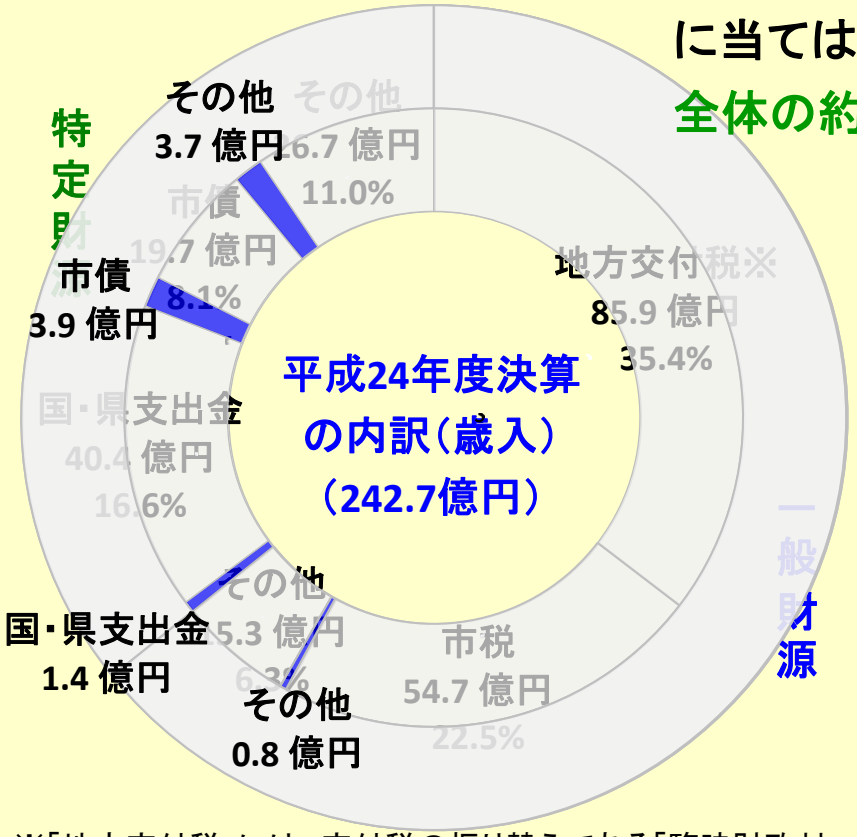
※「地方交付税」には、交付税の振り替えである「臨時財政対策債」を含む

【歳　出】



決算の内訳（平成24年度）

【歳　入】

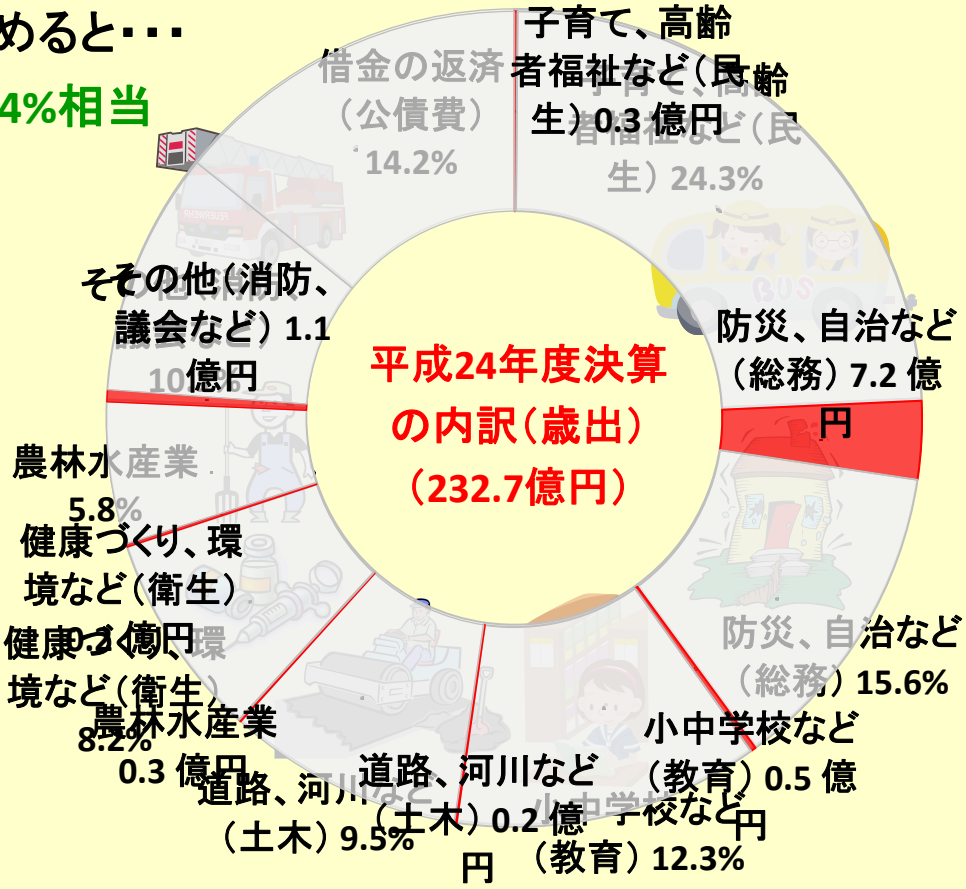


※「地方交付税」には、交付税の振り替えである「臨時財政対策債」を含む

今回（9月補正）の予算規模を、平成24年度決算に当てはめると・・・

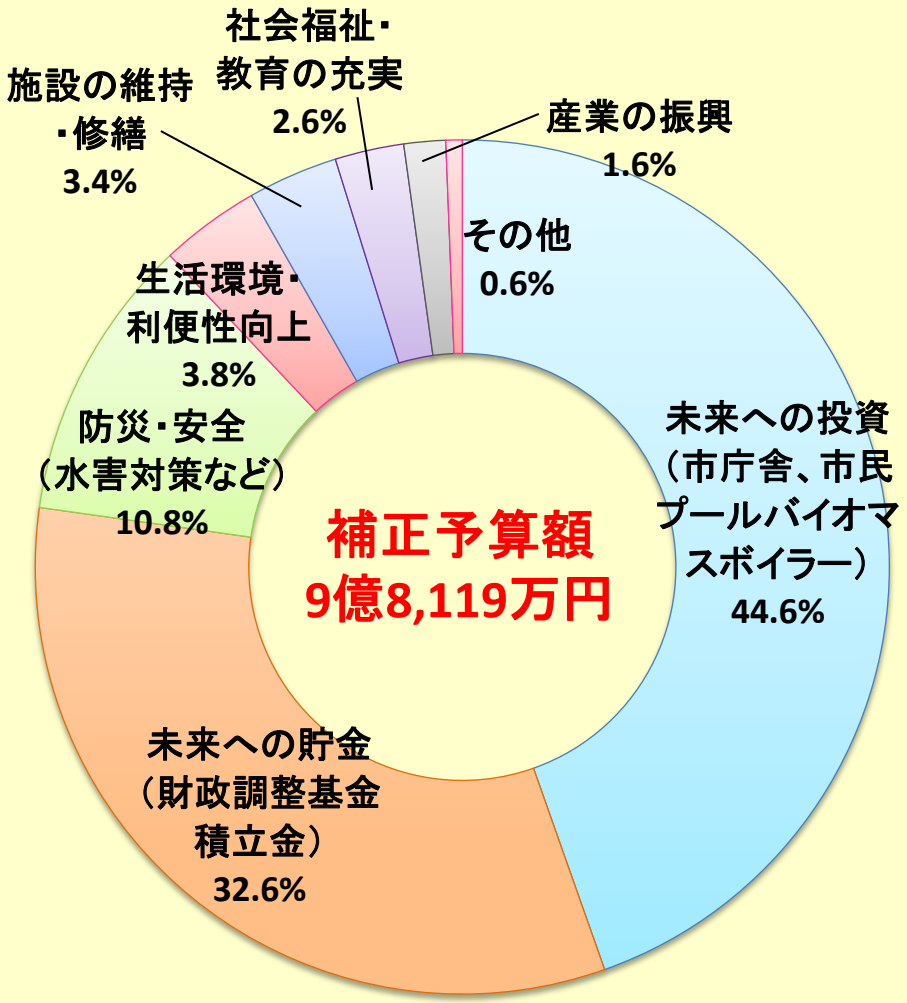
全体の約4%相当

【歳　出】



9月補正予算の内容

【補正予算の内容】



④施設の維持・修繕 3,350万円

- ■道路修繕　1,800万円
- ■小中学校修繕　347万円

⑤社会福祉・教育の充実 2,562万円

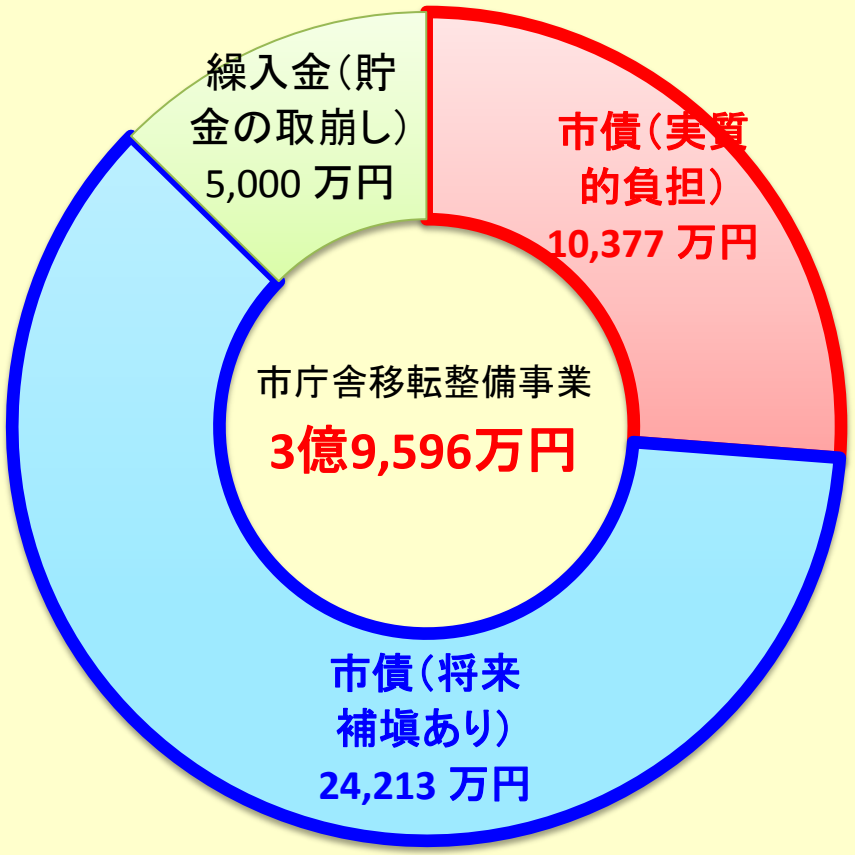
- ■保育所大規模修繕　1,260万円
- ■小中学校教材購入　513万円
- ■生活・介護サポーター養成　360万円

⑥産業振興　1,547万円

- ■中山間地域営農組織支援　1,000万円

市庁舎移転整備事業の財源

市庁舎移転整備事業の追加分（3億9,596万円）を
市民の税負担に当てはめると・・・



「緊急防災・減災事業債」の借入れが認められれば・・・

市民ひとりあたり

約201円／年の負担

（10年間）

借入れが認められなければ・・・

市民ひとりあたり

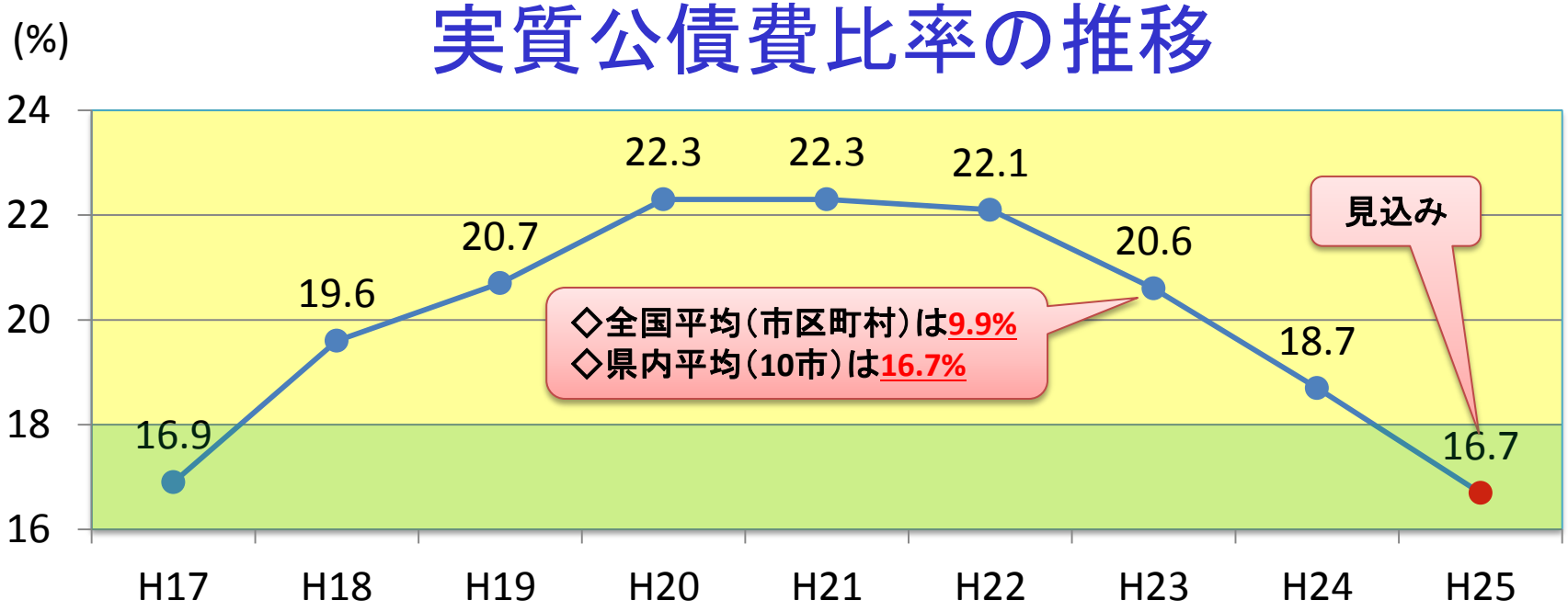
約670円／年の負担

（10年間）

（※借金の元金に係る負担）

氷見市の財政状況①

実質公債費比率の推移



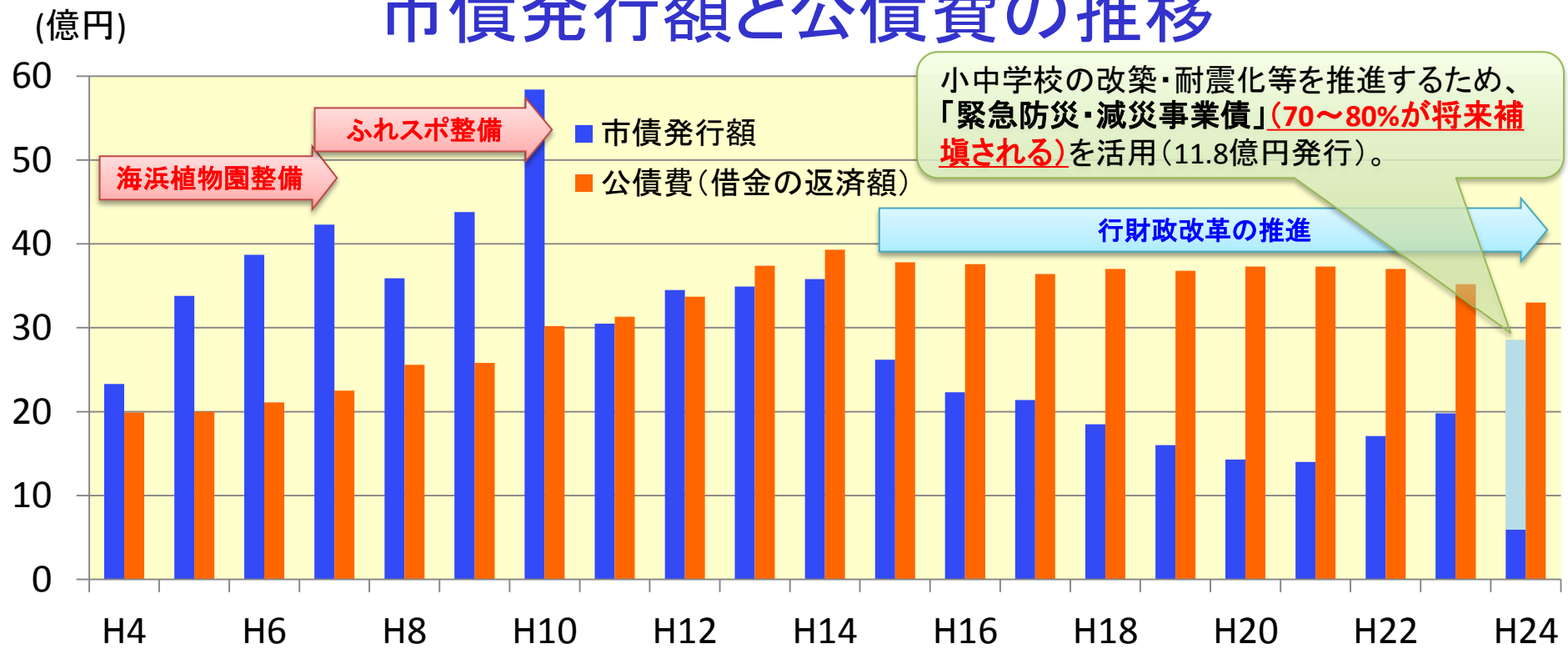
◇35．0%以上：財政再生団体
⇒「財政再生計画」の策定、公表等が義務づけられ、地方債の発行が制限される

◇25．0%以上：早期健全化団体
⇒「財政健全化計画」の策定、公表等が義務づけられる

◇18．0%以上：起債許可団体
⇒地方債の発行に都道府県知事の許可が必要となる

氷見市の財政状況②

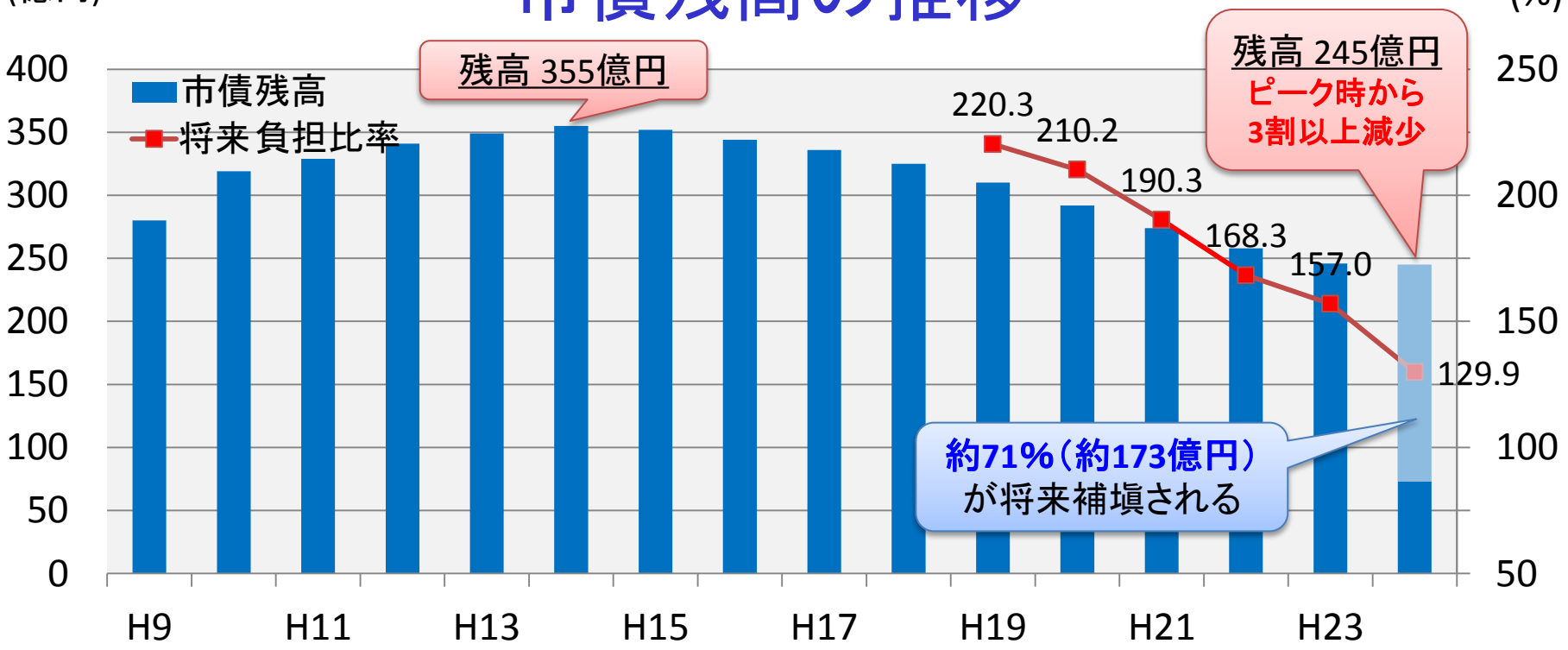
市債発行額と公債費の推移



事業	総事業費	（うち市債）	実質負担額	実質負担割合
ふれあいスポーツセンター整備	45.5億円	（40.3億円）	23.7億円	5割
海浜植物園整備	20.7億円	（16.0億円）	12.1億円	6割
市庁舎移転整備	**19.4億円**	**（16.3億円）**	**7.3億円**	**3割**

氷見市の財政状況③

市債残高の推移



「将来負担比率」とは・・・

市の財政規模に対して、借入金（市債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化したもの

（平成19年度決算より導入）

『市庁舎移転整備について』

～９月補正予算の概要及び修正内容～

―ふれあいトーク―

市庁舎移転整備事業の概要①

東日本大震災の教訓を踏まえ、地震や津波などの災害時に、行政機能を維持し、防災拠点としての機能が発揮できるよう、耐震性などに不備のある現庁舎から、旧有磯高校(体育館や校舎等の一部)の建物を新しい市庁舎として改修し、移転することにしました。

広報ひみ平成２４年９月号

１０月号

１１月号

１２月号

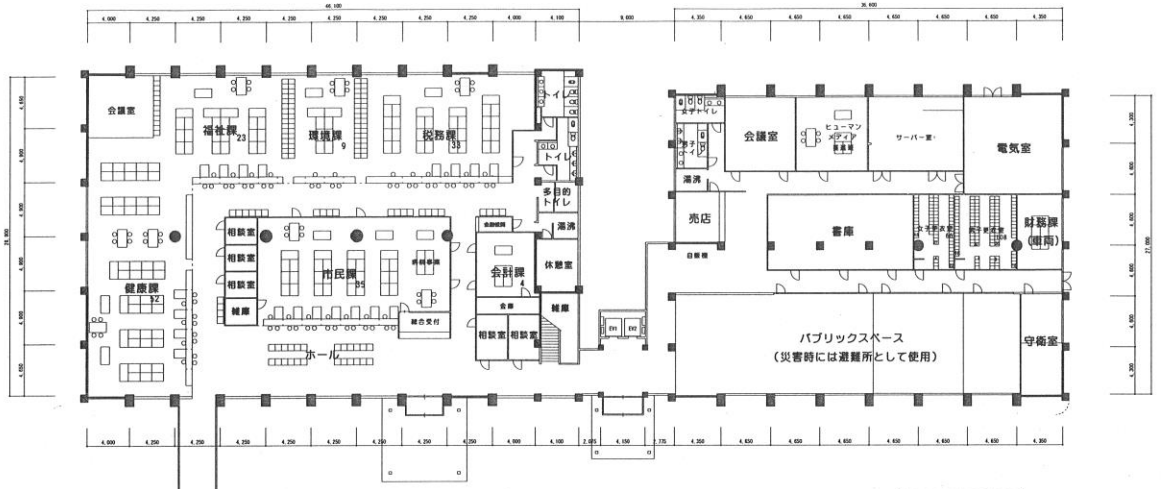
市庁舎移転整備事業の概要②

旧有磯高校体育館

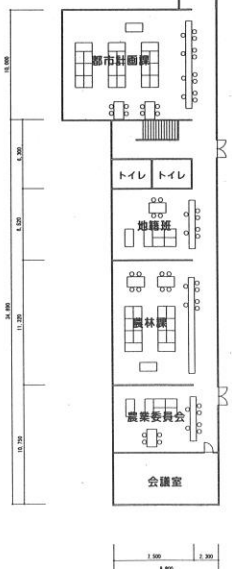
新庁舎イメージ図
（平成24年８月）

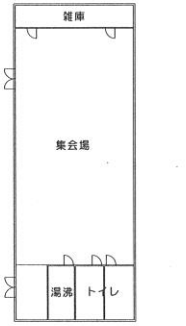
市庁舎検討案①（H24．10月）

1階

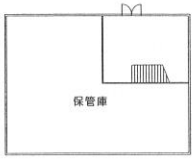


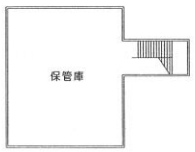
1階平面図





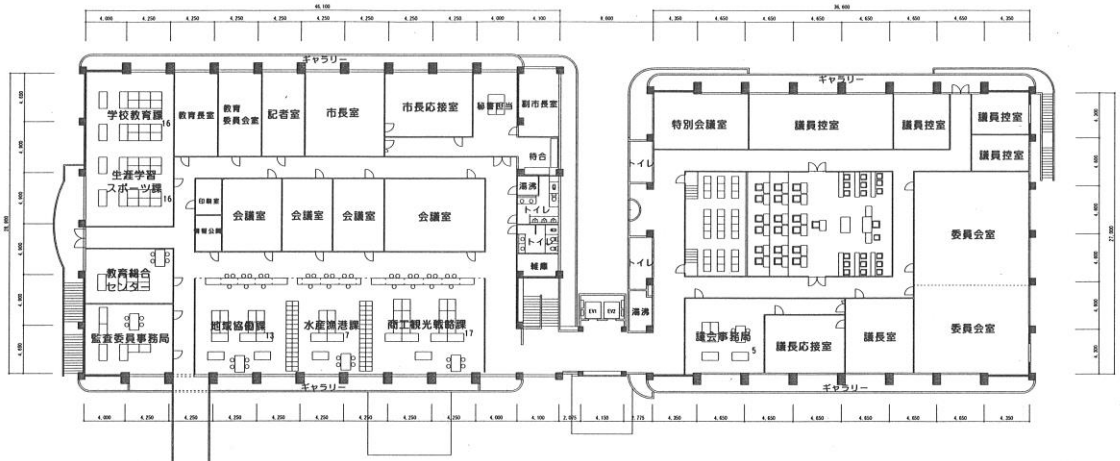
住民開放集会施設
1階平面図



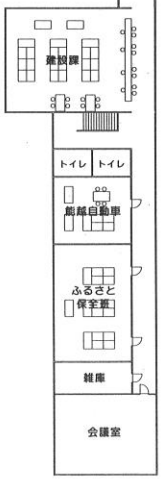


市庁舎検討案①（H24．10月）

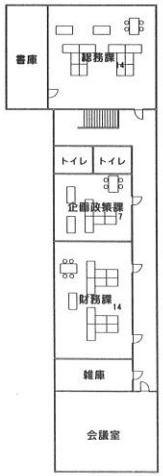
2階



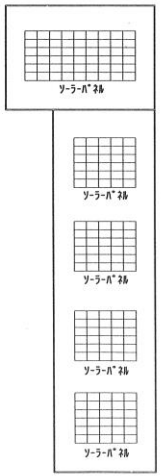
2階平面図



別館２階平面図

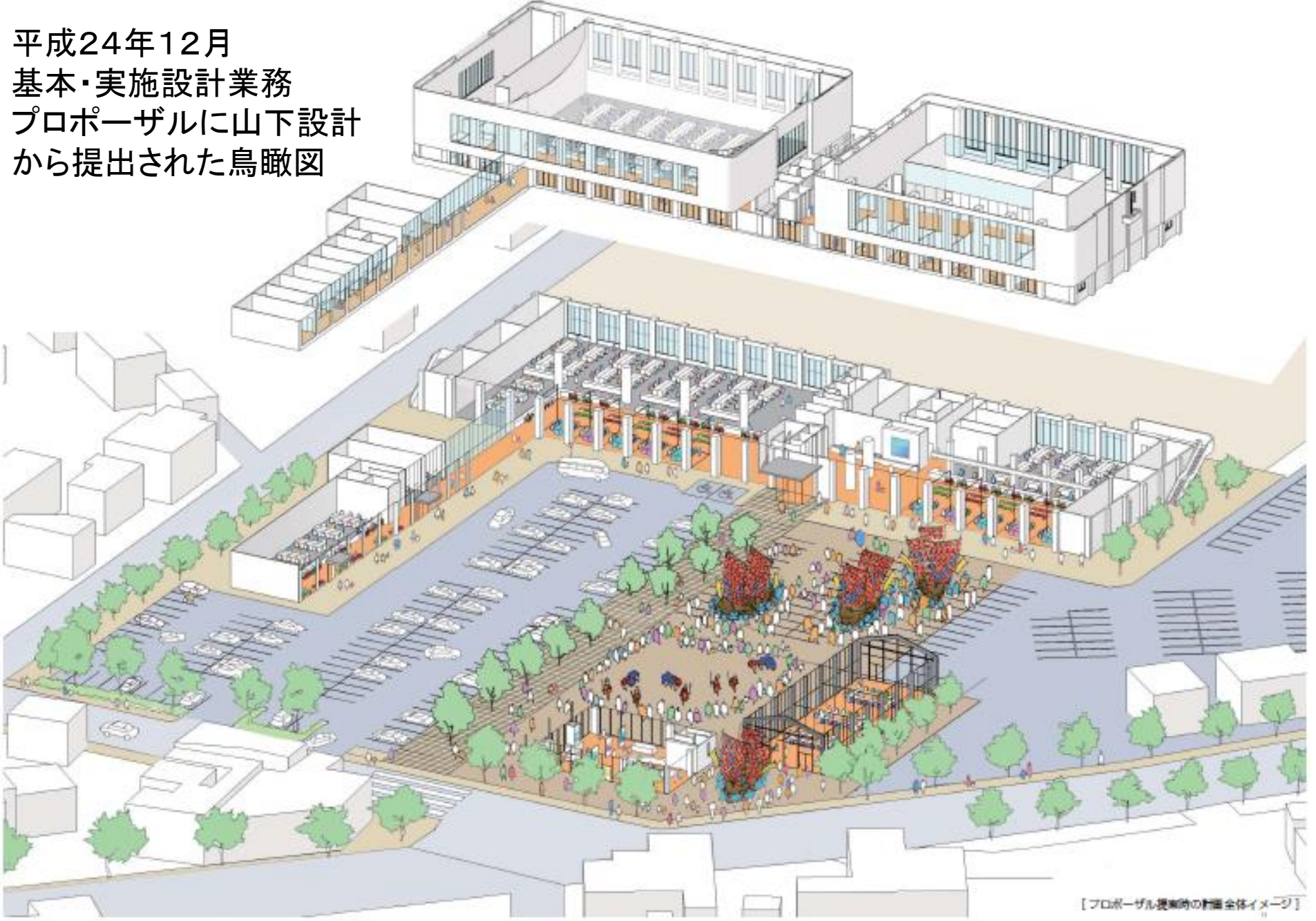


別館３階平面図

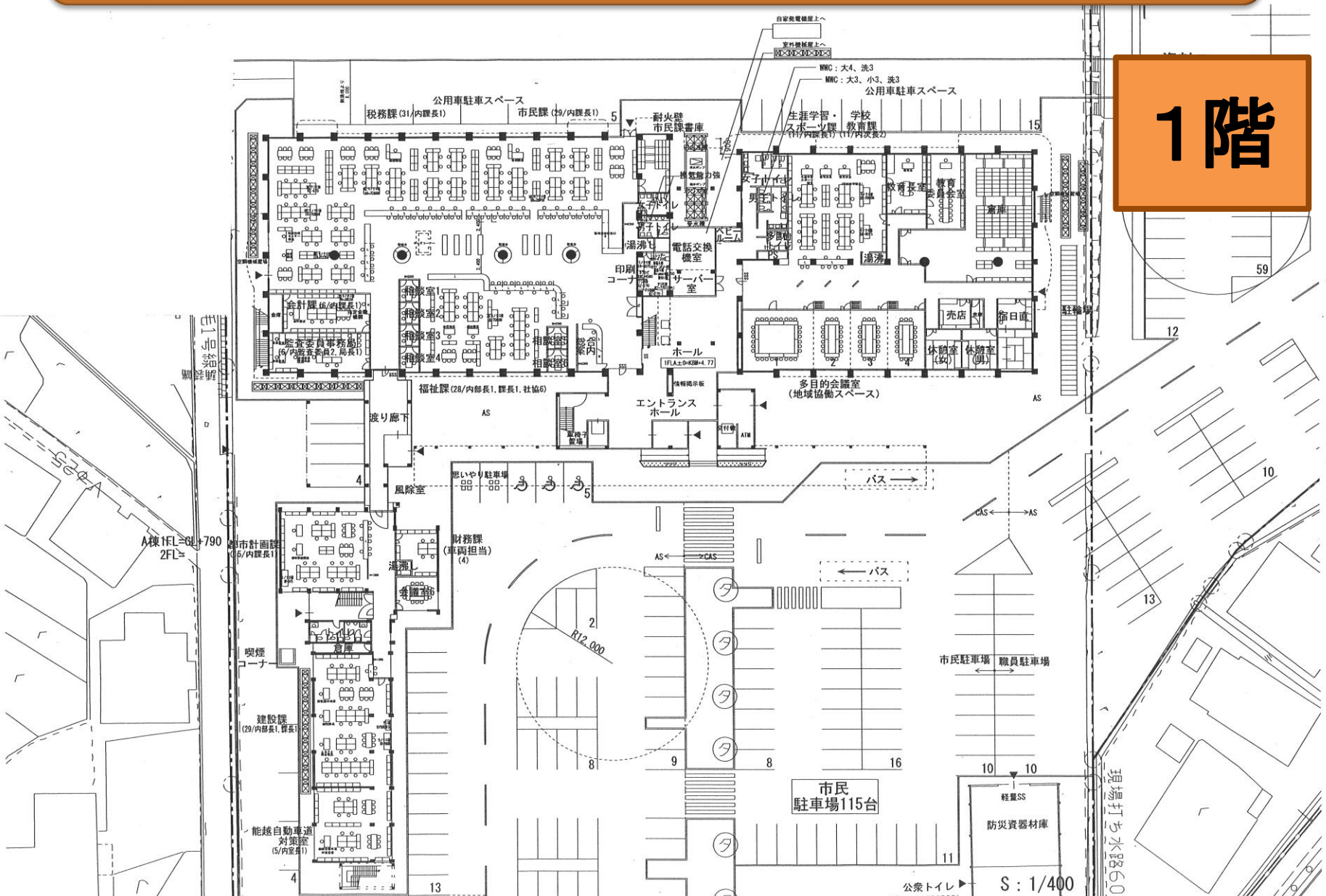


別館屋上平面図

平成24年12月
基本・実施設計業務
プロポーザルに山下設計
から提出された鳥瞰図

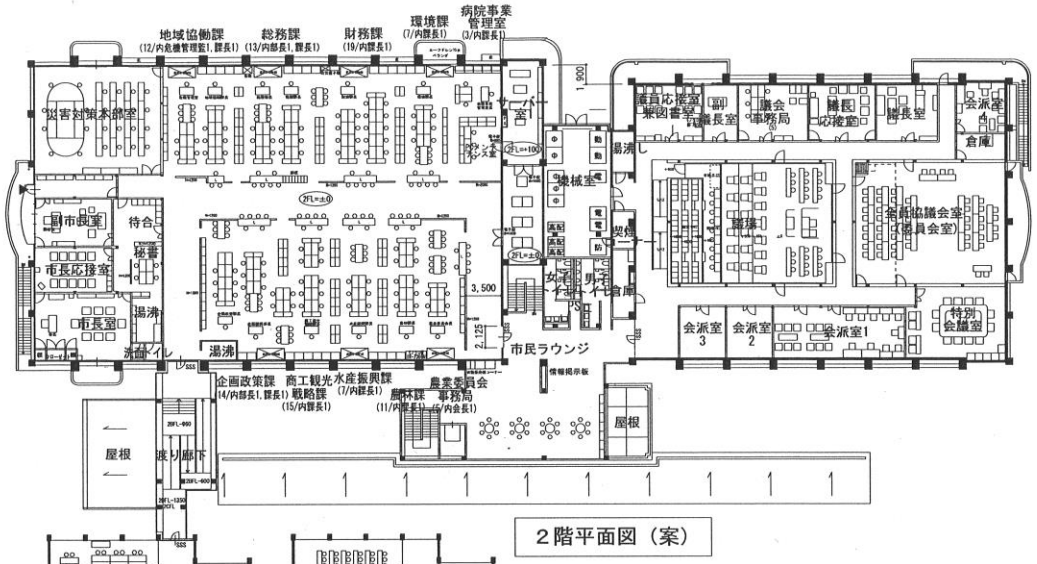


市庁舎検討案②（H25．3月）

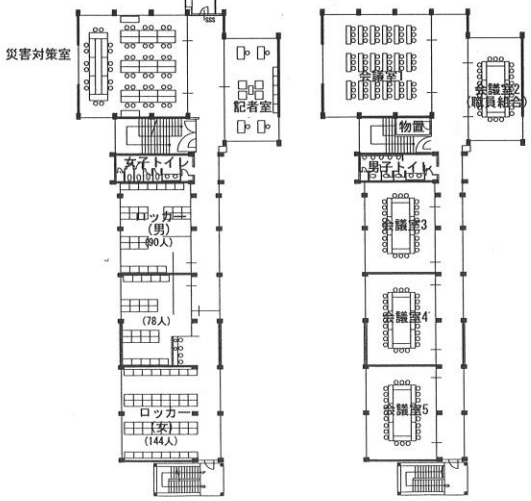


市庁舎検討案②（H25．3月）

2階

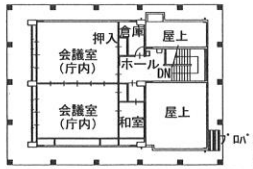


2階平面図（案）

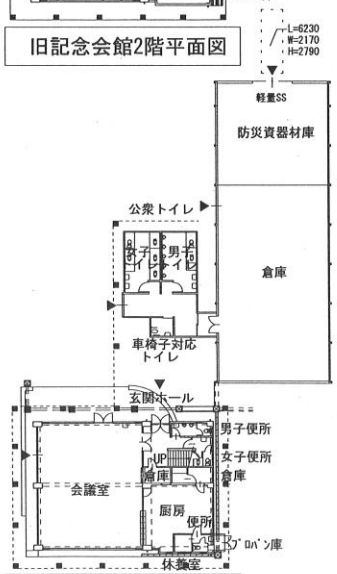


別館2階平面図（案）

別館3階平面図（案）



旧記念会館2階平面図

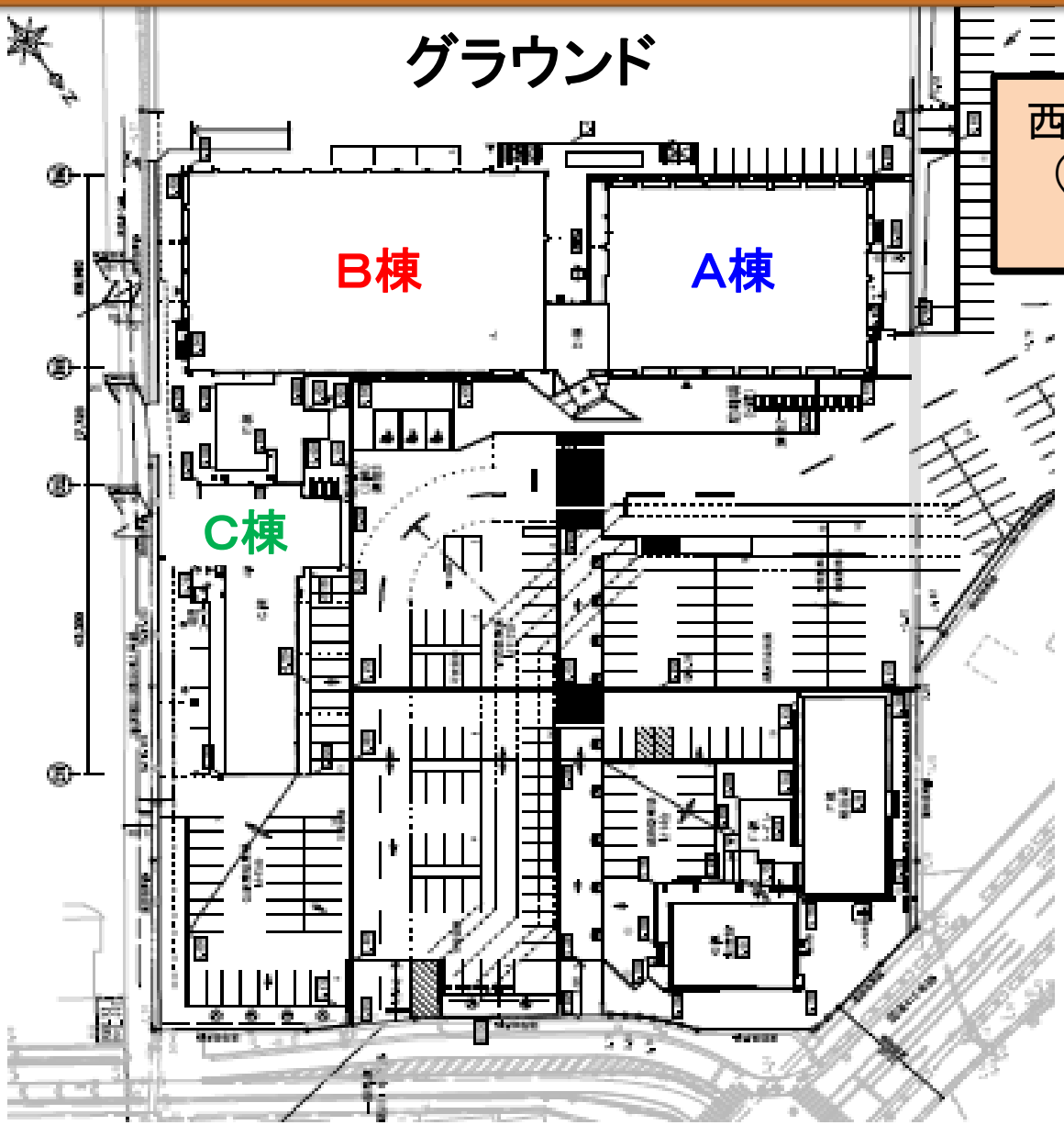


旧記念会館1階平面図

S：1/400

2013/03/07 山下・浅地設計共同企業体

市庁舎検討案③（H25．9月）

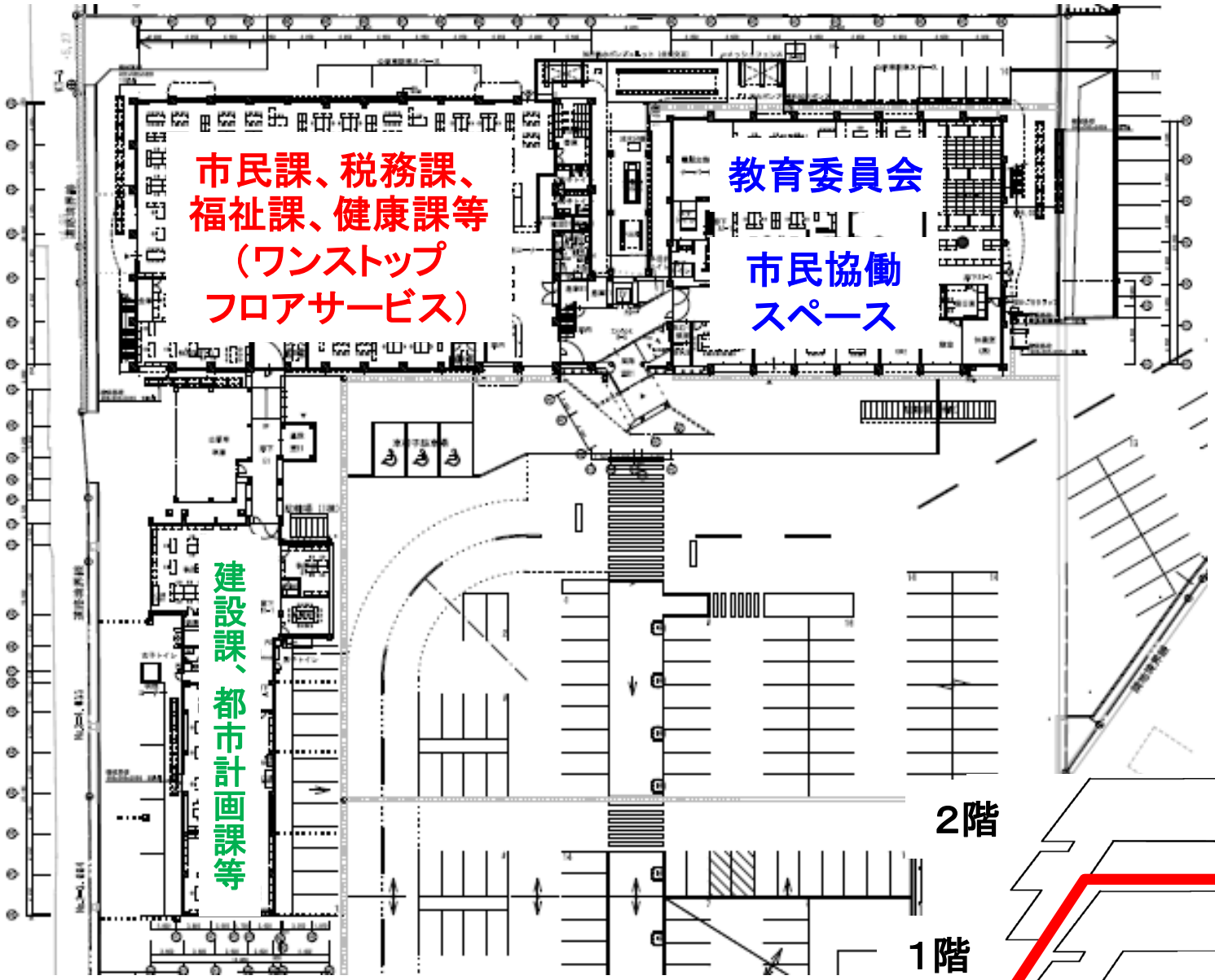


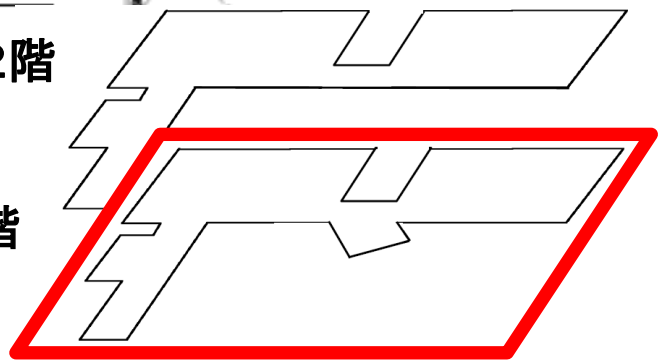
西側駐車場
（職員用）
178台

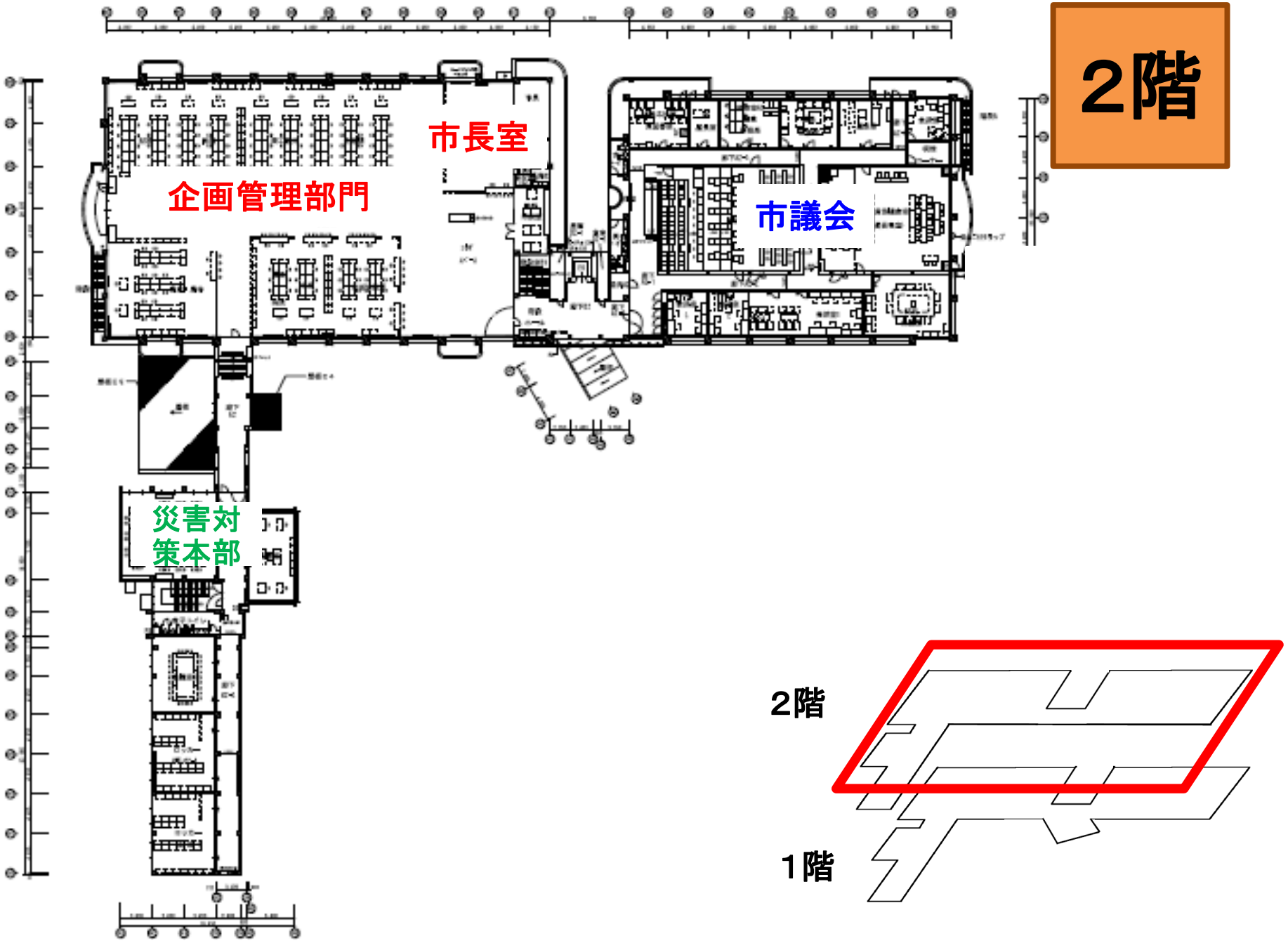
寿養荘側

屋内健康広場側

1階


市民課、税務課、
福祉課、健康課等
（ワンストップ
フロアサービス）
教育委員会
市民協働
スペース
建設課、都市計画課等
2階
1階



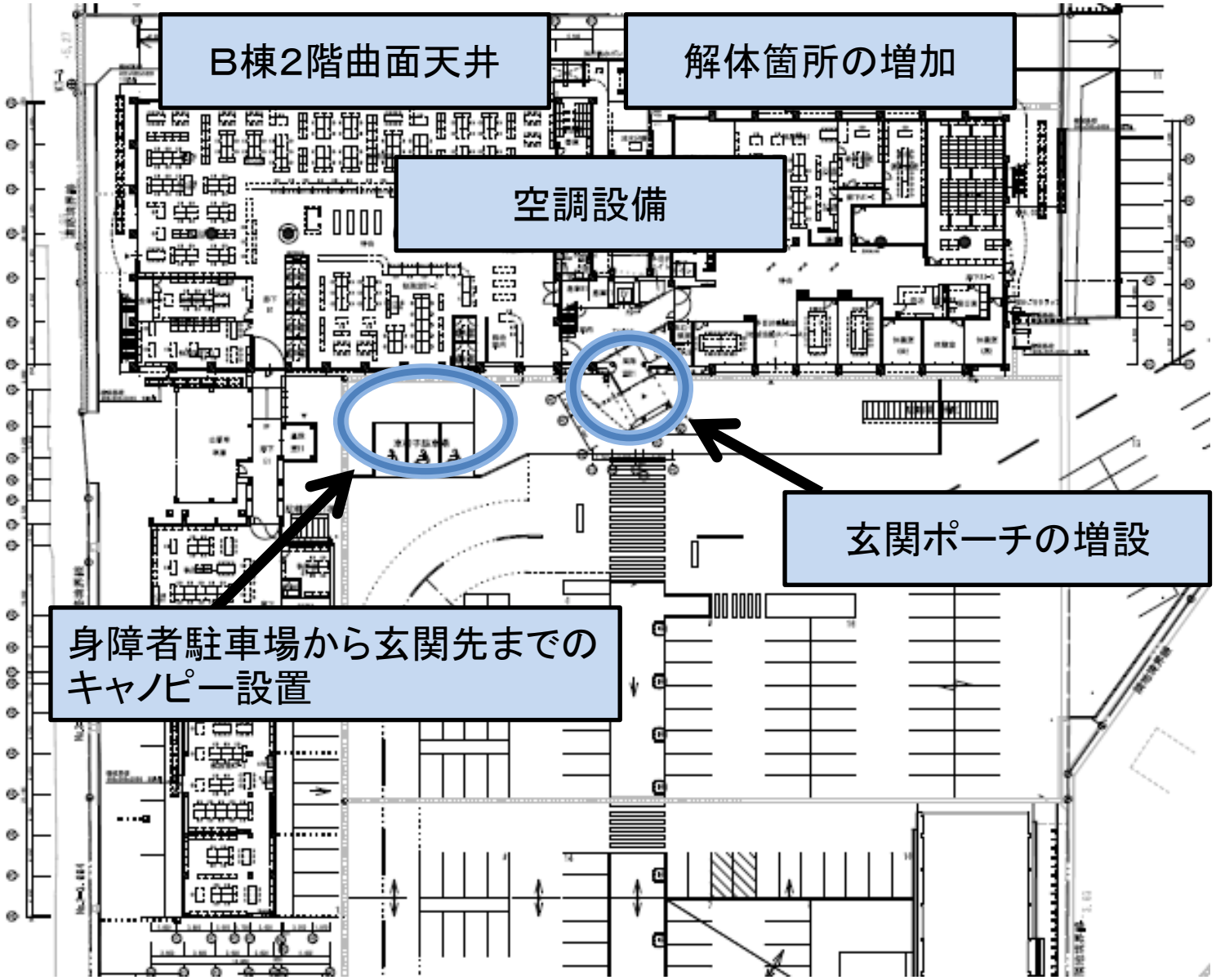

2階
市長室
企画管理部門
市議会
災害対
策本部
2階
1階

市庁舎移転整備事業費の経緯①

平成24年度市庁舎移転整備事業費

議会	事業費	備考
臨時議会 平成24年10月30日	14億6，000万円	用地購入費を含む全体事業費
平成25年3月定例会	8，280万円	内装の木質化や照明のLED化
計	15億4，280万円	

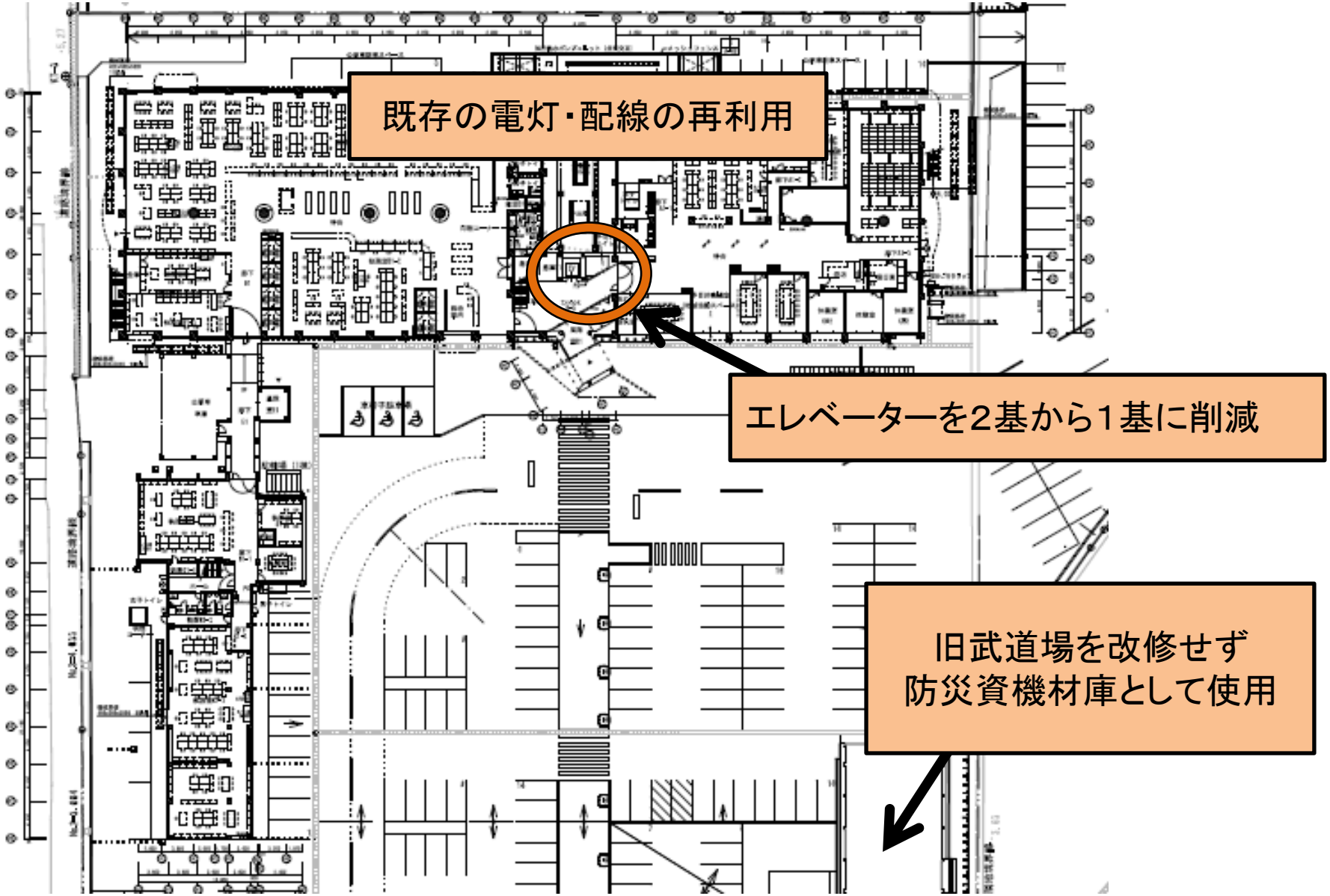
全額を25年度に繰り越す


B棟2階曲面天井
解体箇所の増加
空調設備
玄関ポーチの増設
身障者駐車場から玄関先までの
キャノピー設置

市庁舎移転整備事業費の経緯②

見積り結果

増額の内訳	増　　額
空調設備	＋1億3，864万円
玄関ポーチの増築	＋1億1，778万円
曲面天井	＋4，893万円
解体個所の増加	＋3，527万円
身障者駐車場から玄関先まで キャノピーの設置	＋3，485万円
⋮	⋮
計	＋6億6，576万円


既存の電灯・配線の再利用
エレベーターを2基から1基に削減
旧武道場を改修せず
防災資機材庫として使用

市庁舎移転整備事業費の経緯③

行政の削減努力

減額の内訳	減　　額
既存の電灯・配線の再利用	－5，937万円
武道場の改修の取りやめ	－2，772万円
エレベーターを2基から1基に減	－1，339万円
⋮	⋮
計	－1億5，120万円

市庁舎移転整備事業費の経緯④

市庁舎移転整備事業費（繰越額）

15億4，280万円

９月議会　補正のお願い

5億1，959万円

（6億6，576万円－1億5，120万円の結果として）

９月補正の提案内容①

①断熱サッシの設置　提案額　７，９４３万円

■工事内容

　空調効果を高めるため、A棟、B棟、C棟の既設サッシを、断熱サッシに取り替える。

９月補正の修正内容①

①断熱サッシの設置　修正額　５，９８７万円

■工事内容

　空調効果を高めるため、A棟1階、B棟、C棟の既設サッシを、断熱サッシに取り替える。

９月補正の提案内容③

③自家発電設備の増設　提案額　３，７４９万円

■工事内容

自家発電能力を100KVAから350KVAに変更する。

（電力確保を災害対策室から庁舎全体の4分の1へ引き上げ）

防災設備

９月補正の**修正**内容③

③自家発電設備の増設　修正額　0円

■工事内容

自家発電能力を100KVAから350KVAに変更する。

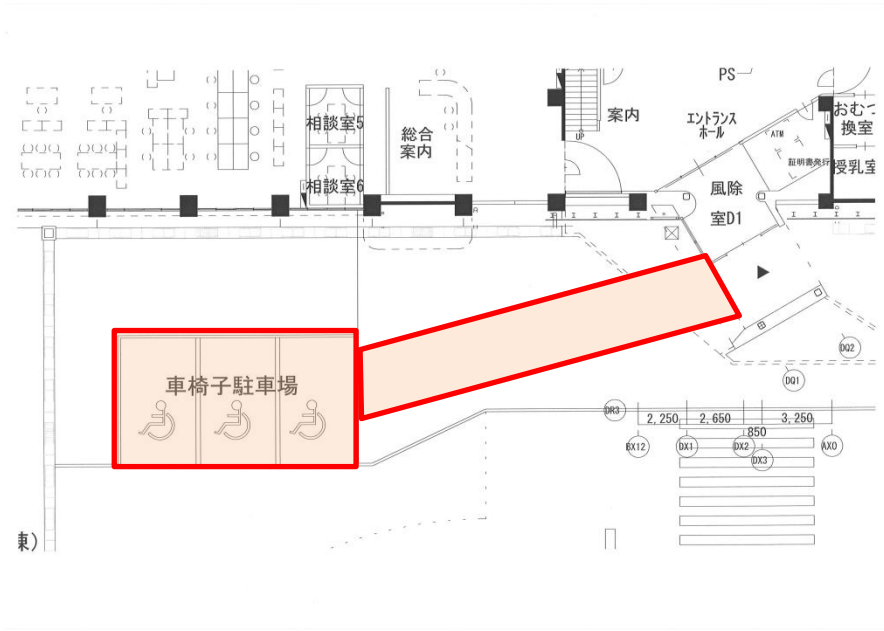
（電力確保を災[illegible]ら庁舎全体の[illegible]引き上げ）

９月補正の提案内容④

④キャノピーの設置　　提案額　３，４８５万円

■工事内容

障がい者駐車場から正面玄関までキャノピーを設置

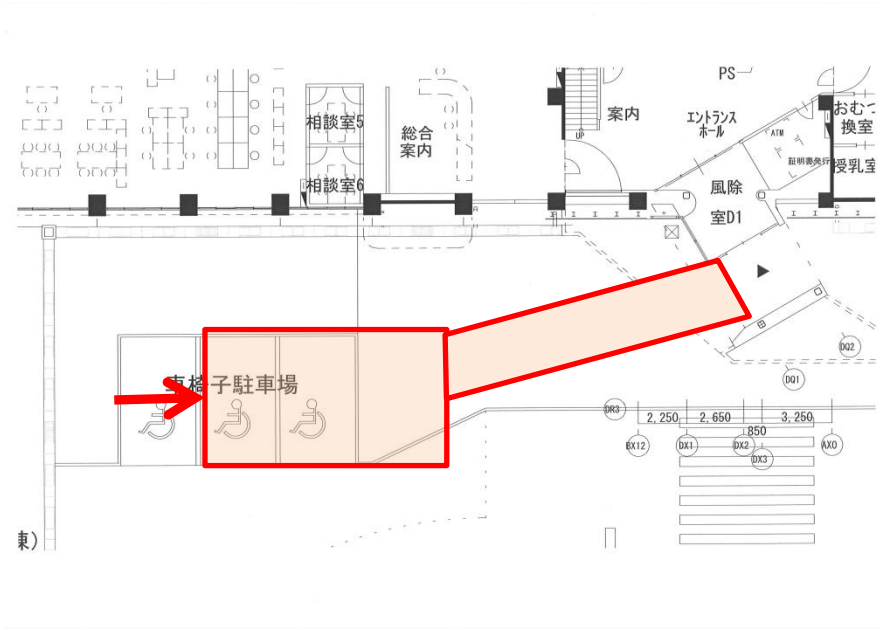


９月補正の修正内容④

④キャノピーの設置　修正額　２，０００万円

■工事内容

障がい者駐車場の位置を正面玄関に近づけて(屋根面積の減)キャノピーを設置



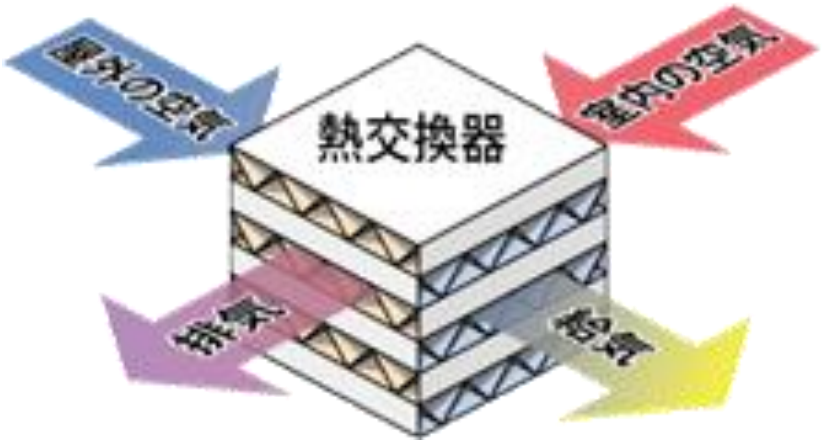
９月補正の提案内容⑤

⑤熱交換機付き換気扇の設置

提案額　５，０８８万円

■工事内容

換気扇を熱交換機付きに変更する。

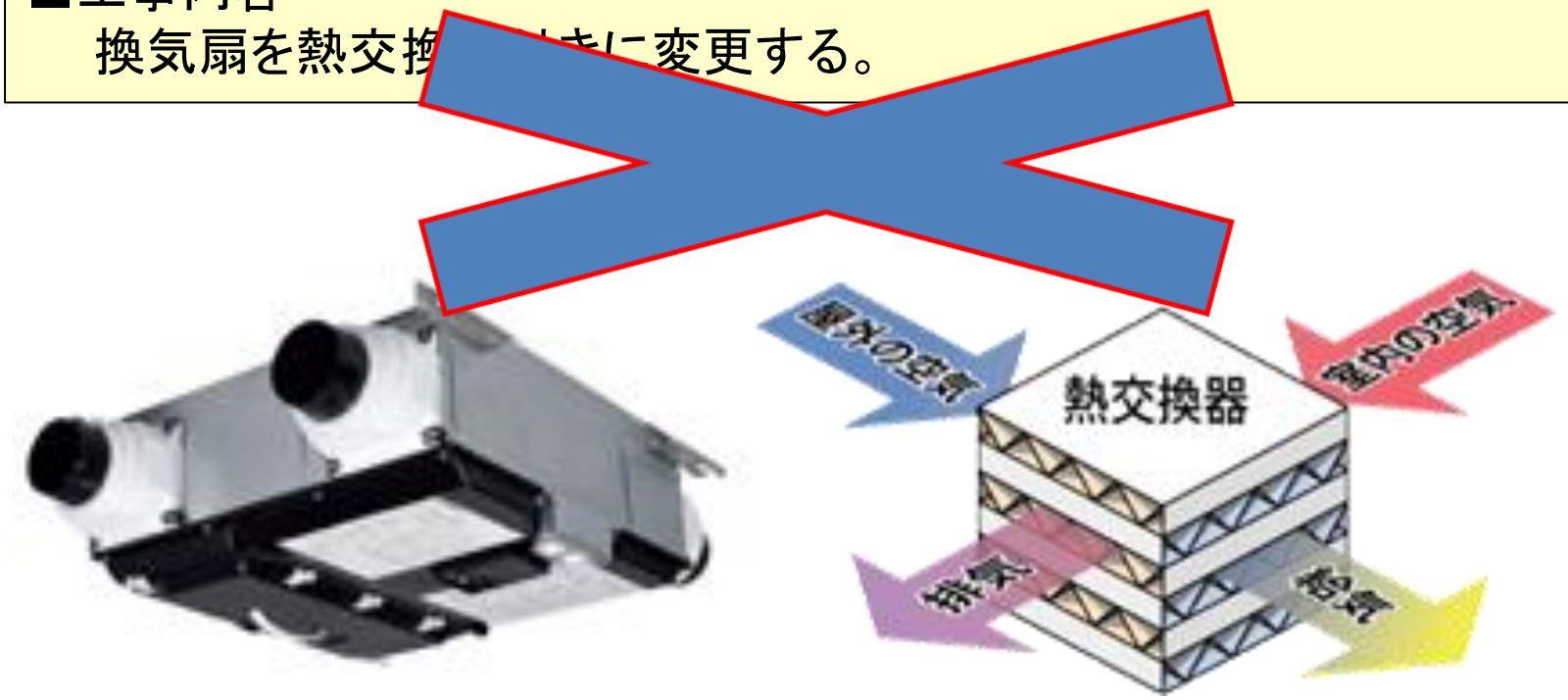


９月補正の修正内容⑤

⑤熱交換機付き換気扇の設置

修正額　０円

■工事内容
　換気扇を熱交換[illegible]きに変更する。



９月補正の提案内容⑥

⑥庁舎外壁の塗装　提案額　２，８１７万円

■工事内容

市庁舎Ａ棟、Ｂ棟、Ｃ棟の外壁塗装を行う。

９月補正の修正内容⑥

⑥庁舎外壁の塗装　修正額　606万円

■工事内容

市庁舎~~A棟、B棟、~~C棟の外壁塗装を行う。

９月補正の修正内容のまとめ

９月定例会での主な減額

減額の内訳	減　　額
自家発電設備増設の取りやめ	－3,749万円
熱交換機付換気扇設置の取りやめ	－2,962万円
A棟2階断熱サッシの取りやめ	－1,956万円
⋮	⋮
計	－1億2,363万円

市庁舎移転整備事業費の経緯④

市庁舎移転整備事業費（繰越額）	
	15億4，280万円
9月補正（見積り結果）	＋6億6，576万円
（行政の削減）	－1億5，120万円
（委託料の増額）	＋503万円
議会修正案	－1億2，363万円

全体事業費計　　19億3，876万円

市庁舎移転整備事業の予算額①

（単位　万円）

種　別	当初見積額	9月補正額	現在見積額	備　考
建設工事	3億8，657	3億1，711	7億　368	
改修部内装解体	1，527	3，526	5，053	
1階床改修	1，377	355	1，732	
内部工事	1億9，750	1億1，779	3億1，529	
内装木質化	2，700	0	2，700	
玄関ポーチ増設	525	7，968	8，493	
キャノピー設置	0	2，000	2，000	
エレベーター設置	2，625	△1，338	1，287	
外部建具設置	3，570	4，918	8，488	
耐震改修	3，150	282	3，432	
外壁改修	1，764	△1，158	606	
渡り廊下・車庫	1，480	3，208	4，688	
駐輪場	189	171	360	

市庁舎移転整備事業の予算額②

（単位　万円）

種　別	当初見積額	9月補正額	現在見積額	備　考
電気設備工事	3億8，597	△4，082	3億4，515	
受変電設備・LED化	3億2，470	△2，385	3億　85	
通信設備	3，292	308	3，600	
自家発電設備	2，835	△2，005	830	
機械設備工事	2億3，042	1億2，982	3億6，024	
給排水衛生設備	5，925	2，029	7，954	
消火設備	658	52	710	
空調設備	1億6，459	1億　901	2億7，360	
その他工事	1億5，813	△1，517	1億4，296	
舗装	1億1，466	1，255	1億2，721	
外溝	1，575	0	1，575	
武道館改修	2，772	△2，772	0	

市庁舎移転整備事業の予算額③

（単位　万円）

種　別	当初見積額	9月補正額	現在見積額	備　考
工事請負費計	11億8，450	3億9，094	15億7，544	
本体＋外溝	11億6，109	3億9，094	15億5，203	
システム移転等	2，341	0	2，341	
委託料	4，554	478	5，032	
設計業務	3，515	0	3，515	
監理業務	829	478	1，307	
測量業務	210	0	210	
用地購入費	3億0，000	0	3億0，000	
事務費	1，275	24	1，299	
合　計	15億4，280	3億9，596	19億3，876	

広報ひみ10月号

新市庁舎について考える市民と職員の合同ワークショップが9月1日、移転先の自動車機械科で行われ、市民と市職員約100人が参加しました。

当日は、新市庁舎移転プロジェクトチームがこれまでの経緯や本日の流れについて説明を行った後、利用者が多い各課を同じフロアに配置し、手続きを可能な限り一元化するワンストップ・ワンフロアサービスについて、寸劇を交えて市民の皆さんに紹介しました。

その後のワークショップでは、参加者がテーマ毎に4つのグループごとにアイデアを出したり、意見や思いを話し合ったりしました。

【テーマ】
❶市民会議室ワークショップ
❷学校の記憶を活かし隊
❸屋外スペースの使い方と花とみどりのデザインを考えよう
❹逆事業仕分け

最後に、グループごとにワークショップの成果を発表しました。

グループB 学校の記憶を活かし隊

皆さんが持つ学校の記憶や新市庁舎が学校であった事を思い起こすため、旧有磯高校に残された宝物を新市庁舎に活かすことにより、市庁舎への愛着につながる活用方法を4つに分類して話し合いました。

実用
新市庁舎で日常的に利用
・教室の引き戸にキャスターをつけて、仕切りや可動式ボードに
・廃材(床・窓枠)を利用して、机や椅子を作成

展示
学校の記憶として宝物を展示
・門標や記念碑などを庁舎敷地の一角に残す
・作物を市庁舎敷地内の畑で栽培・展示する

アート
モニュメントや壁面装飾など
・ガラスに絵を描いてステンドグラスにする
・校舎に植えられていた杉を庁舎壁面に描く

ソフト
宝物を活用したソフト事業
・農産物やからし漬など高校生が作った農産品を売店で販売する
・「ありその昼市」の復活

グループA 市民会議室ワークショップ

「みんなで考え、みんなで作る　市民会議室」をテーマに、旧記念館である市民会議室の利用方法について、現地で見学ツアーを行った後、3つのグループに分かれて意見を出し合い、それぞれ3つにまとめました。

Aグループ
①障害者就労支援としての福祉カフェや福祉作品の販売の場
②市民が打ち合わせやワークショップを開くことができるいつでも会議室
③水見ゆかりの映画を流す情報センター＋作品を発表・展示できる市民ギャラリー

Cグループ
①ランチやカフェが楽しめ、市民・職員がつながれるふれあいサロン
②健康教室や婚活の場
③発表・展示ができ、発信もできるスペース

Bグループ
①待合室
②障害者の働く場
③駐車場

グループD 逆事業仕分け(討論型世論調査)

「志民のための　志民による　討論型世論調査ワークショップ」をテーマに、新市庁舎移転整備事業費の増額分について、市民の皆さんに意見を求めました。最初に、増額分の7つの内容について説明を受けた後、各自でランキング付けを行い、3つのグループごとに討議をしました。

ランキング結果
①庁舎全体に対応する自家発電設備
②空調効率を上げるための空調設備工事
③断熱性能を高めるための外部建具設置
④セキュリティーを高めるための通信設備工事
⑤外壁を塗装するための外壁改修(A・B・C棟)

グループC 屋外スペースの使い方と花とみどりのデザインを考えよう

新市庁舎の屋外スペースについて、「こんな花、みどりがあったらいいな」「こんな使い方ができたらいいな」という視点から、さまざまな意見を出し合いました。当日は、新市庁舎の模型も用意し、木の高さなどもイメージして考えました。

「こんな花、みどりがあったらいいな」
・ツツジを植えてほしい
・タブの木を残したい
・フジ棚があったらいい
・屋根にスナゴがあれば省エネでいい

「こんな使い方ができたらいいな」
・市民バザー、骨董市など総合市
・ありその昼市
・ソーラーパネルを設置
・雪捨て場

新市庁舎デザインワークショップ"提案会"のご案内

これまで計3回にわたり開催した新市庁舎デザインワークショップで、市民の皆さんからたくさんのご意見やアイデアなどをいただきました。新市庁舎移転プロジェクトチームが、これらの貴重なご意見などをまとめて、今後実現するために、市担当課へのプレゼンテーションを行います。

また、これまでのワークショップの振り返りも実施します。どなたでもお越しいただけますので、ぜひご来場ください。

●日時　10月9日(水) 午後7時～9時
●場所　いきいき元気館 3階ホール
※事前に予約の必要はありません。
●問い合わせ　財務課　☎74－8035

ワークショップを終えて

市民の皆さんがご自由に参加していただく、初めてのワークショップは、実りの秋にふさわしく実り多いものとなりました。参加いただいた皆さんには、お忙しい中、また、お暑い中、ご足労いただき本当にありがとうございました。これまで議論いただいた内容を生かしながら、利用しやすく親しまれる市庁舎となるよう、来春の完成に向けて努力してまいります。

アンケート集計結果

ワークショップ参加者にアンケートを実施したところ、48人にご協力をいただきました。

Q.ワークショップに参加した全体の感想を記載ください。

アンケート回答者48人中、19人が「とてもよかった」、28人が「まあまあよかった」と、概ね好評をいただきました。

Q.新市庁舎の計画、ワークショップ(WS)の試みについてご意見・ご提案を記載ください。

・WSの進め方についてのご意見
①時間的に短い中で多くの意見が出たことで市民が行政に対し興味があることが伝わった
・全体がよく見えた
・ワークショップを行うことにより、幅広い意見を集めることができるので、良いのではないか
・これからの課題がいろいろ浮きぼりになった部分があり、今後、議論を進めていかなければと思った
②庁舎機能についてのご意見
・設計プランについても、もっと早く知りたかった
・ワークショップの結果などお知らせしてほしい
③その他
・市民参加型の市政運営とも支持します
・さまざまな思いを生かす仕組みづくり、これは大変良いと思います
・今日の意見が新庁舎に生かされるうれしいです
・庁舎跡地利用にも生かしてください

久目地区まちづくりふれあいトーク

ーふれあいトークー

1. 原子力発電所の災害時の対応について

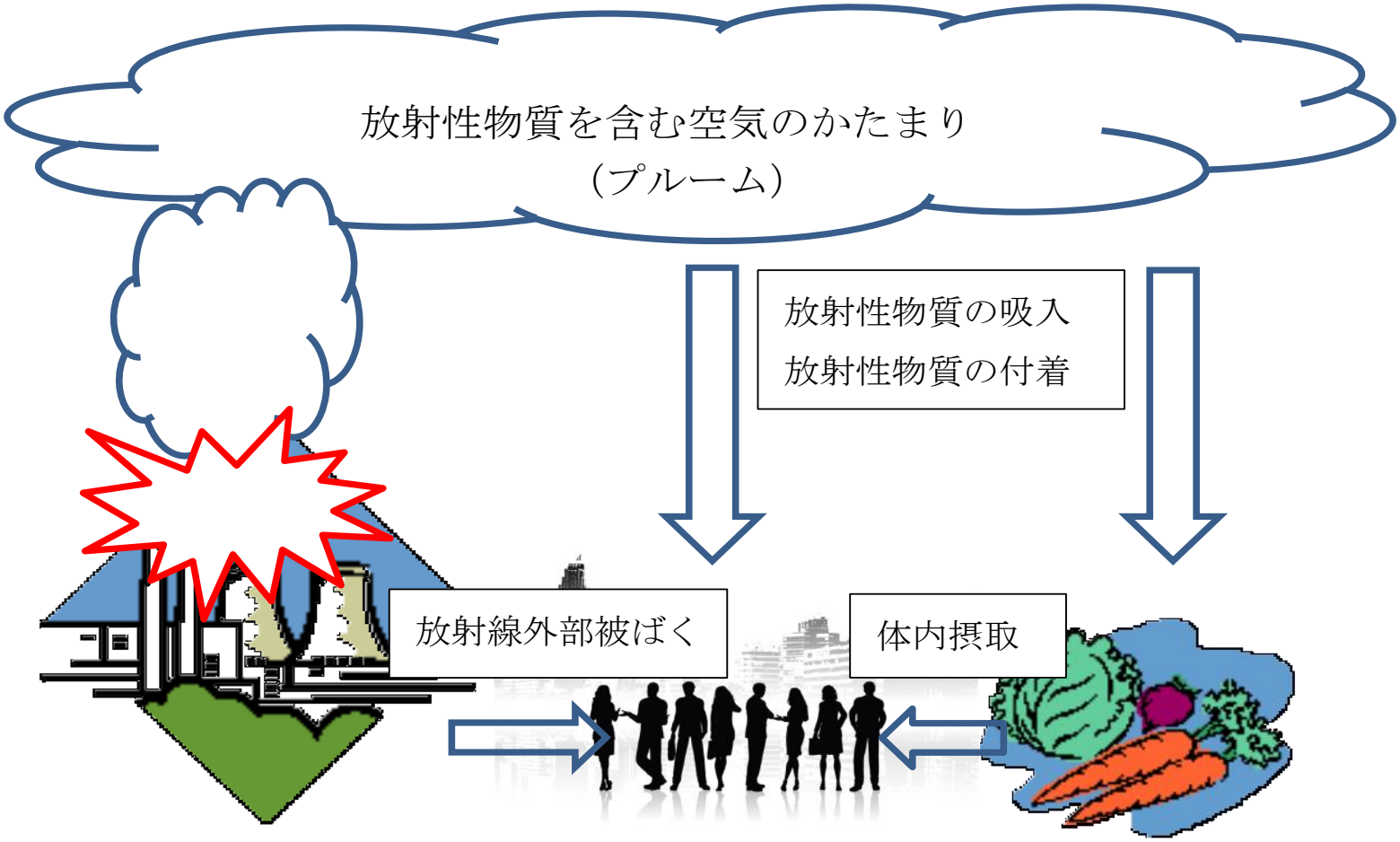
氷見市地域防災計画（原子力災害対策編）概要

氷見市

計画の目的

- 福島第一原発事故の教訓を踏まえ、氷見市、富山県、石川県、関係自治体及び防災関係機関が必要な体制を確立し、総合的かつ計画的な対応を行うことにより、市民の生命、財産を原子力災害から守ることを目的とする。

原子力災害の概念
（放射性物質の異常な水準での放出）



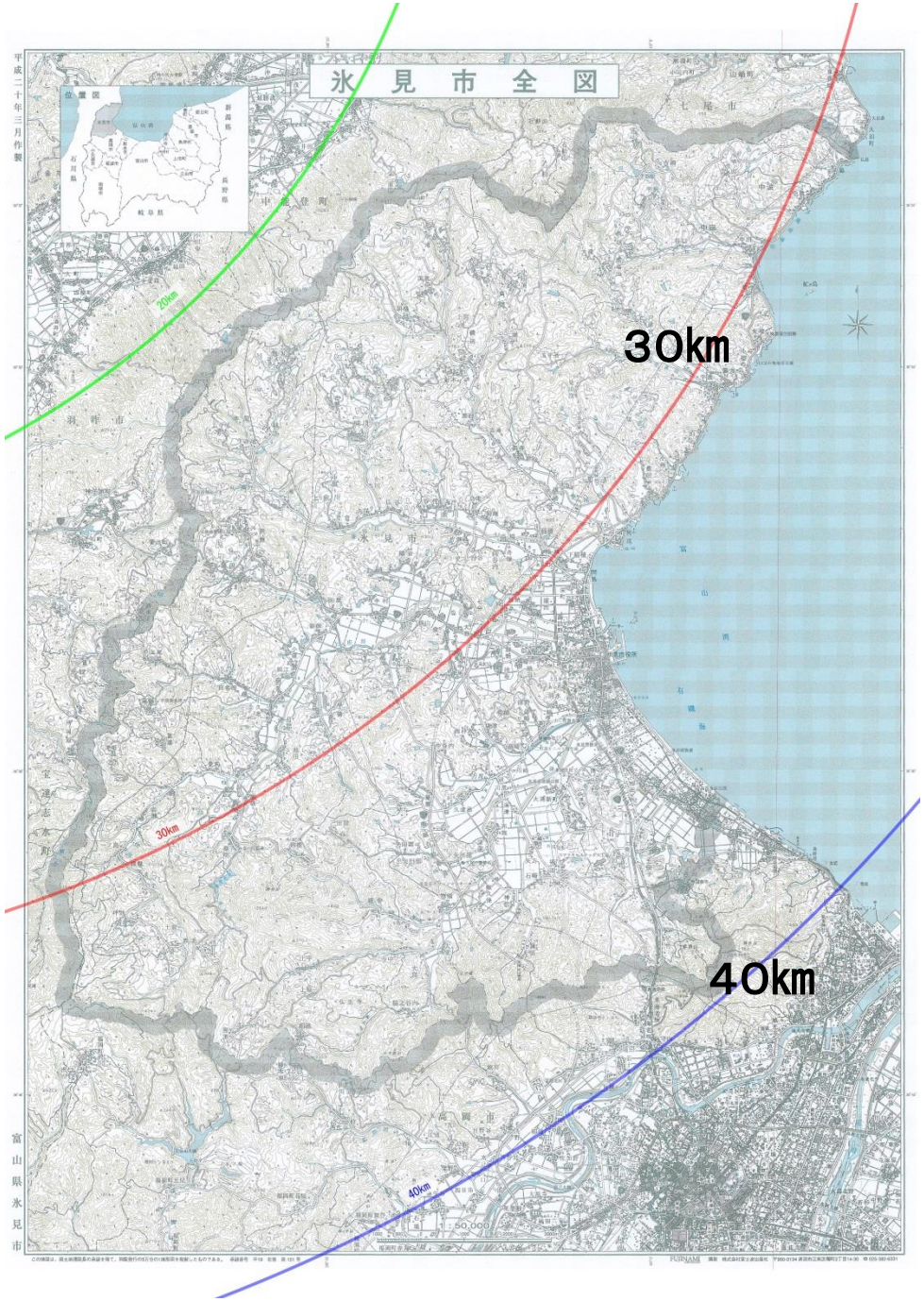
原子力防災対策重点区域

緊急時防護措置を準備する区域：UPZ

（国が目安とする30km圏内にその全部又は一部が含まれる行政区）

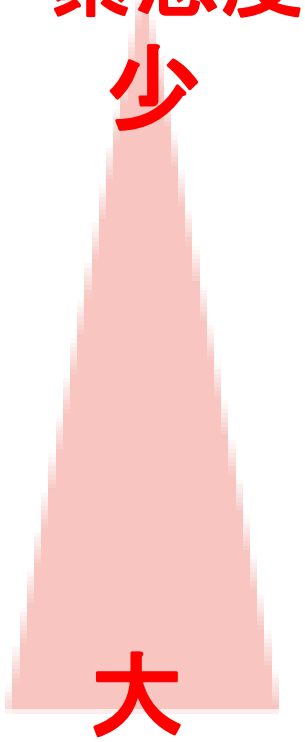
加納	加納（谷内、※中程）
稲積	上稲積、※下稲積
上庄	※大野、泉、※中尾、上田、柿谷、七分一、中村、
熊無	谷屋、新保、論田、熊無
速川	小窪、田江、早借、小久米、日詰、日名田、三尾、床鍋、葛葉
久目	久目、※触坂、※棚懸、岩瀬、老谷、見内、
余川	余川
碁石	上余川、寺尾、懸札、吉懸、一刎、味川、
八代	吉滝、磯辺、針木、角間、小滝、国見、胡桃、
阿尾	※阿尾、指崎、森寺、北八代
薮田	※薮田、※小杉、※泊
宇波	※宇波、※脇方、※小境、※大境、白川、戸津宮、大窪、五十谷
女良	※姿、中田、※中波、※脇、長坂、平沢、吉岡、平

※印：一部UPZ圏内に含まれる行政区


氷見市全図
位置図
20km
30km
40km
30km
40km
平成二十年三月作製
富山県氷見市

施設での緊急事態の区分

発電所の状況に応じて、緊急事態を3つに区分



1　警戒事態

2　（施設敷地）緊急事態

3　全面緊急事態

緊急レベル1
警　戒　事　態

- 石川県において震度6弱以上の地震発生
- 石川県において大津波警報発令
- 非常用電源の1回線が15分喪失、又は外部電源が3時間喪失（平成25年9月5日国の指針改定）

市の対応

市は防護体制の構築、情報の収集を行い

市民防護の準備を開始

緊急レベル2
緊　急　事　態

- 全交流電源30分間喪失
- 冷却水の漏洩など

市民は屋内退避準備を開始

緊急レベル3
全面緊急事態

- 全交流電源が1時間喪失
- 原子炉停止不可　など

市民は屋内退避を実施し、避難準備体制に入る

さらに、事態が深刻化し、万が一放射性物質が放出された場合

- 緊急時モニタリングによる測定結果に基づき、防護措置を実施する基準（OIL）

500μSV/h　⇒　数時間以内に避難を開始

20μSV/h　⇒　１週間程度内に一時移転

【参考】

・CT撮影１回の医療被ばく線量
およそ10mSV（10，000μSV）

市民への的確な情報伝達体制

市民のみなさんに、防災情報を伝達します。

（情報伝達手段）

- 防災行政無線（市内１３３箇所）
- 防災ラジオ
- 能越CATV
- 広報車
- 報道機関
- 緊急速報メールなど

緊急事態応急対策
（屋内退避、避難収容等の防護活動）

- 市は、国の指示又は独自の判断により、UPZ内における屋内退避、避難等を実施する
- 避難の際は、自家用車両など様々な手段を利用するものとし、自家用車両による避難が困難な市民等については、近所の乗合若しくは、市等が準備する車両等により避難を行う。
- また、避難にあたっては、災害時要援護者等に十分配慮する。

屋内退避の指示が出た場合

自宅、職場、最寄りの公共施設などの屋内に入る。

屋外で通報を受けた場合は、タオルやハンカチで口を覆う。

	折りたたみ数	除去効率（%）
男性用木綿ハンカチーフ	16	94．2
男性用木綿ハンカチーフ	8	88．9
けばの長い浴用タオル	2	85．1
ぬれた女性用木綿ハンカチーフ	4	63．0

出典：公益財団法人　原子力安全技術センター「原子力防災ポケットブック」

★外から帰ってきたら、顔や手を洗い衣服を着替える。
（タオルやハンカチ、着替えた衣服はポリエチレン袋に保管しましょう）

屋内退避の対策

ドアや窓を全部
閉めてください。
換気扇などを
止めてください。
外から帰って
きた人は顔や手を
洗ってください。
速報
防災行政無線、
ケーブルテレビ、
広報車、ラジオ・
テレビなどの
正しい情報を。
食品にフタをしたり
ラップをかけてください。

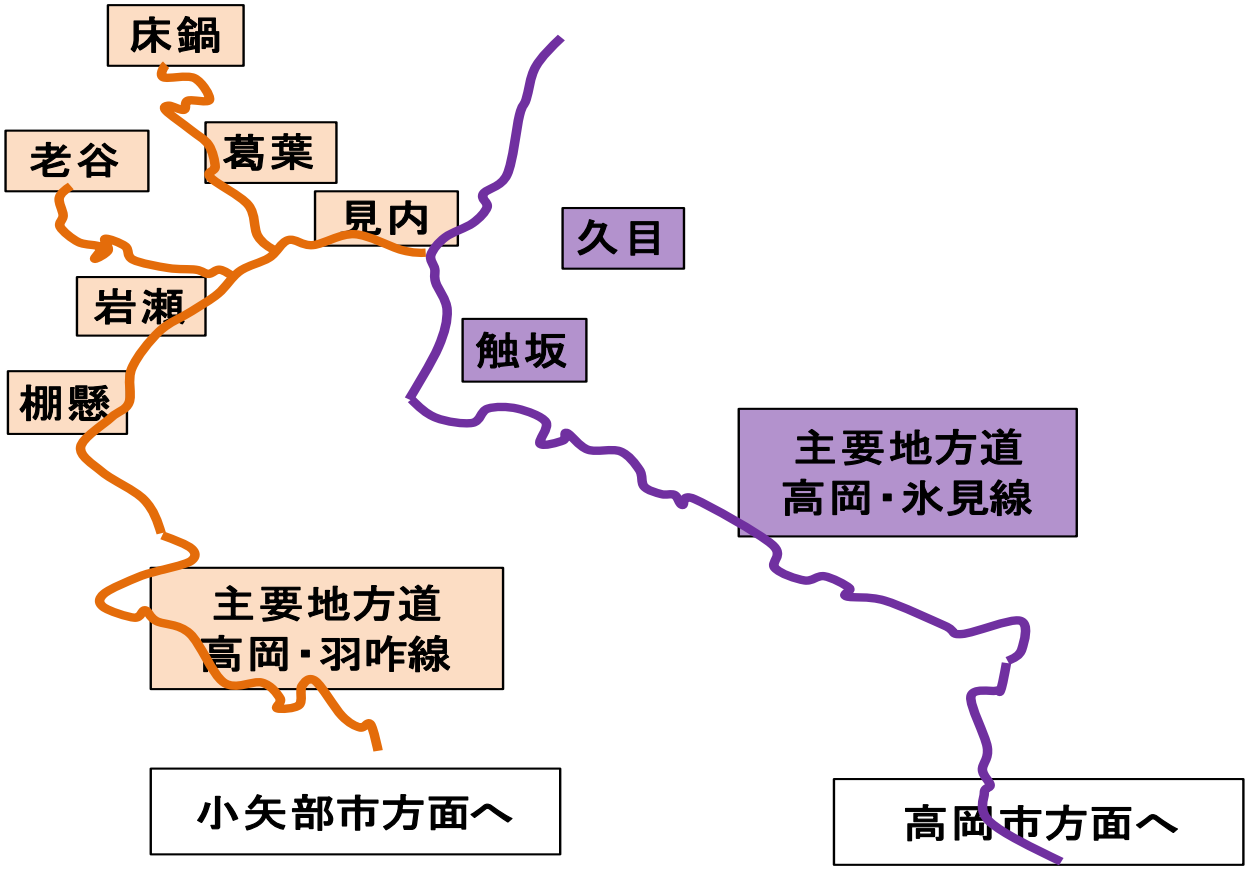
屋内退避を実施した場合の効果

（出典：公益財団法人　原子力安全技術センター「原子力防災ポケットブック」）

木造建屋
●放射性ヨウ素による甲状腺が受ける線量は４分の１から１０分の１になります
●外部被ばくに対して約１０％低減されます

コンクリート建物
●放射性ヨウ素による甲状腺が受ける線量は、２０分の１から７０分の１になります
●外部被ばくに対して約８０％低減されます

基本的な避難ルート案



2. 空き家対策はどのようなものがあるのか

空き家に対する支援

危険老朽空き家対策事業

→土地を含めて市に寄附のあった住宅を市が解体撤去

危険老朽空き家対策事業補助金

→解体費用に対し30万円を上限として補助

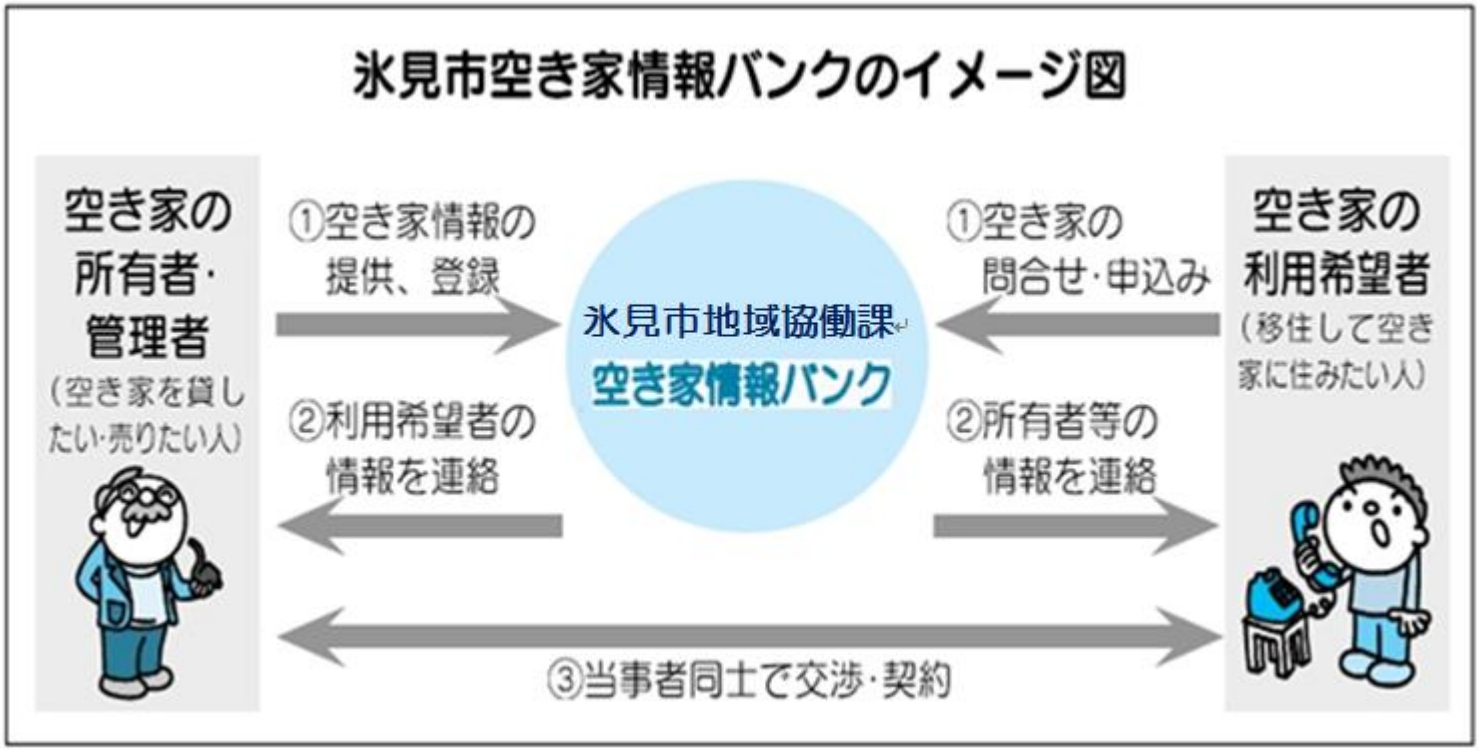
氷見市空き家情報バンク

空き家の有効活用を考えてみませんか？

企画振興部地域協働課

空き家情報バンクって何？①

氷見市への定住促進と空き家の有効活用のために、市外から氷見市への移住希望者に氷見市の空き家を紹介する仕組みです。

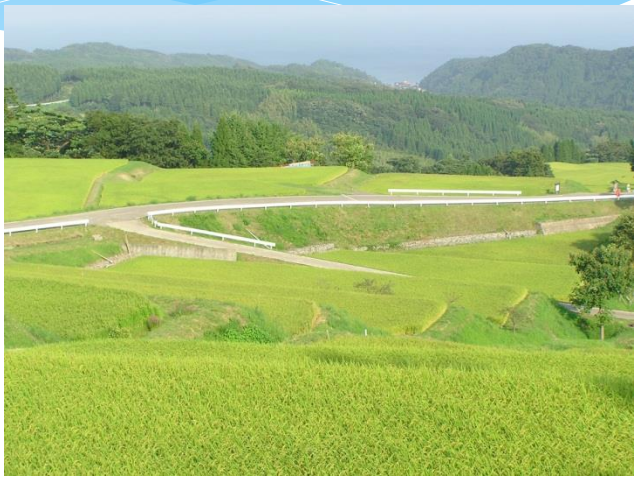


（H18～実施）

空き家情報バンクって何？②

　氷見の海や山などの自然環境は、都市住民の方々にとって大変魅力があります！

「海が見えるところで生活したい！」
「農作業（家庭菜園）をしながら、
　　スローライフを楽しみたい！」



空き家物件　大募集中！！

お気軽に地域協働課まで♪

空き家情報バンクのこれまでの実績①

（１）氷見市へ移住された方の数

２５世帯５５人　（H18～H24）

成約年度	売却・賃貸の別		合計
	売却	賃貸	
平成１８年度		１件	１件
平成１９年度	２件	２件	４件
平成２０年度	２件	４件	６件
平成２１年度	１件	１件	２件
平成２２年度	１件	６件	７件
平成２３年度		２件	２件
平成２４年度	１件	２件	３件
合計	７件	１８件	２５件

空き家情報バンクのこれまでの実績②

（２）移住された方の前居住地

首都圏＞北陸＞東海の順で、移住された方が多い状況

都道府県名	件数	人数
山形県	１件	１人
埼玉県	３件	８人
東京都	５件	７人
千葉県	１件	３人
群馬県	１件	４人
岐阜県	１件	２人
石川県	３件	７人
愛知県	２件	７人
大阪府	１件	２人
兵庫県	１件	２人
長崎県	１件	２人
富山県内	５件	１０人
計	２５件	５５人

空き家情報バンクのこれまでの実績③

（３）移住された方の年代

６０代以上の方が
一番多い。
近年は若年者（３０～
４０代）の移住希望者
も増加傾向か。

世代	人数
１０歳未満	９人
１０代	３人
２０代	３人
３０代	９人
４０代	８人
５０代	８人
６０代以上	１５人
計	５５人

空き家情報バンクのこれまでの実績④

（４）これまでの累計登録件数

空き家物件－１０４件（現在取扱い件数　２０件）
利用希望者－１７２件（現在有効者数　　８９人）

利用希望者から要望が比較的多い中山間地域や山間部の物件はまだまだ登録が少ない状況です。

★ぜひ、登録についてご検討ください！

久目地区まちづくりふれあいトーク

ーふれあいトークー